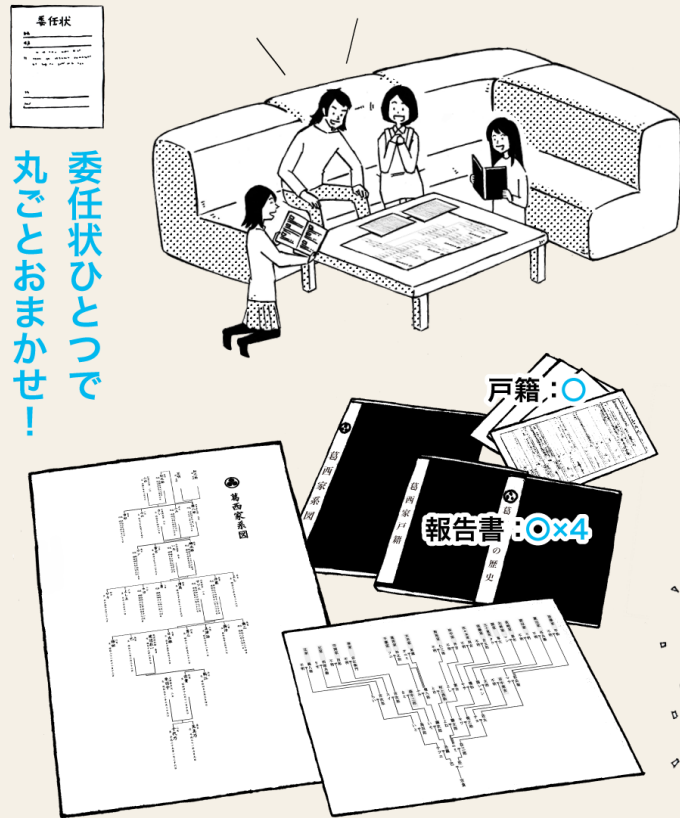




詳細系図 A3 見開き : $\bigcirc \times 4$ 全体系図 A3 見開き : $\bigcirc$

家宝わたしの ヒストリエコース 家系図物語

あなたの「家の物語」を千年先まで残す
家系図調査パッケージ

- 全ての戸籍原本 + 全体系図
- 四家系の詳細系図
- 報告書 (基礎資料付)
- 家系譜をお届け

家族で共有できる
語れる土台に。

先祖をたどりたい...でも
家系図って難しい...

記録は永久じゃない
今のうちに!
戸籍には150年の
保管期限があります

①家系図は
今しか作れません

委任状ひとつで
丸ごとお任せ。

日本全国の
各地市町村から
全家族の戸籍を
網羅収集。

進捗は
スプレッドシートで
随時共有いたします

②戸籍=日本の文化遺産。
失われる前に未来へ

つながりが
一目でわかる!

③今なら150-200年前の江戸末期の先祖にたどりつきます。

全ての戸籍原本 + 全体系図
四家系の詳細系図
報告書 (基礎資料付)
家系譜をお届け

家族で共有できる
語れる土台に。

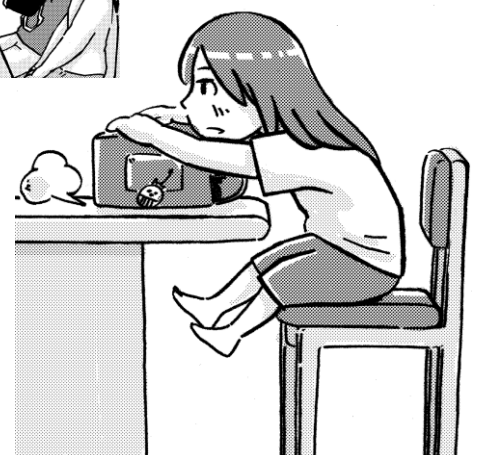
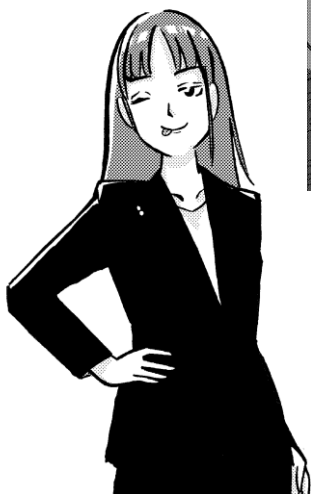
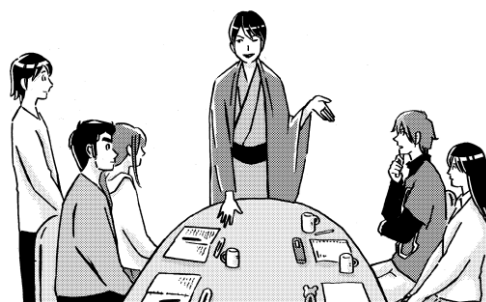
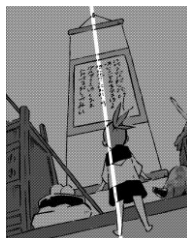
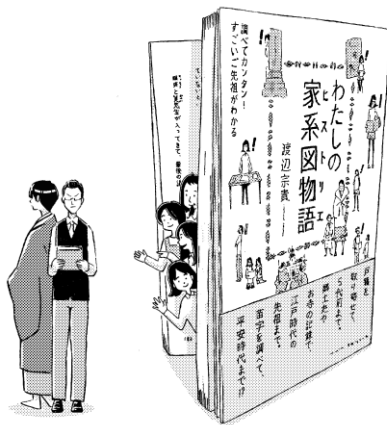
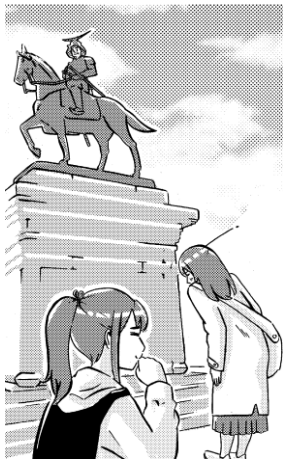
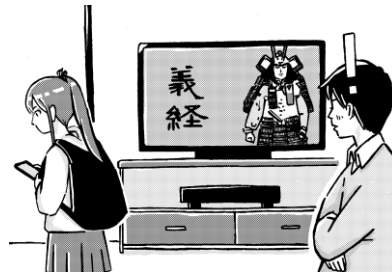
わ、この報告書
私の家の歴史の
教科書みたい!

これなら未来に
残せるね

④「あなたの「家の物語」を、千年先まで残す」
家系図調査パッケージ

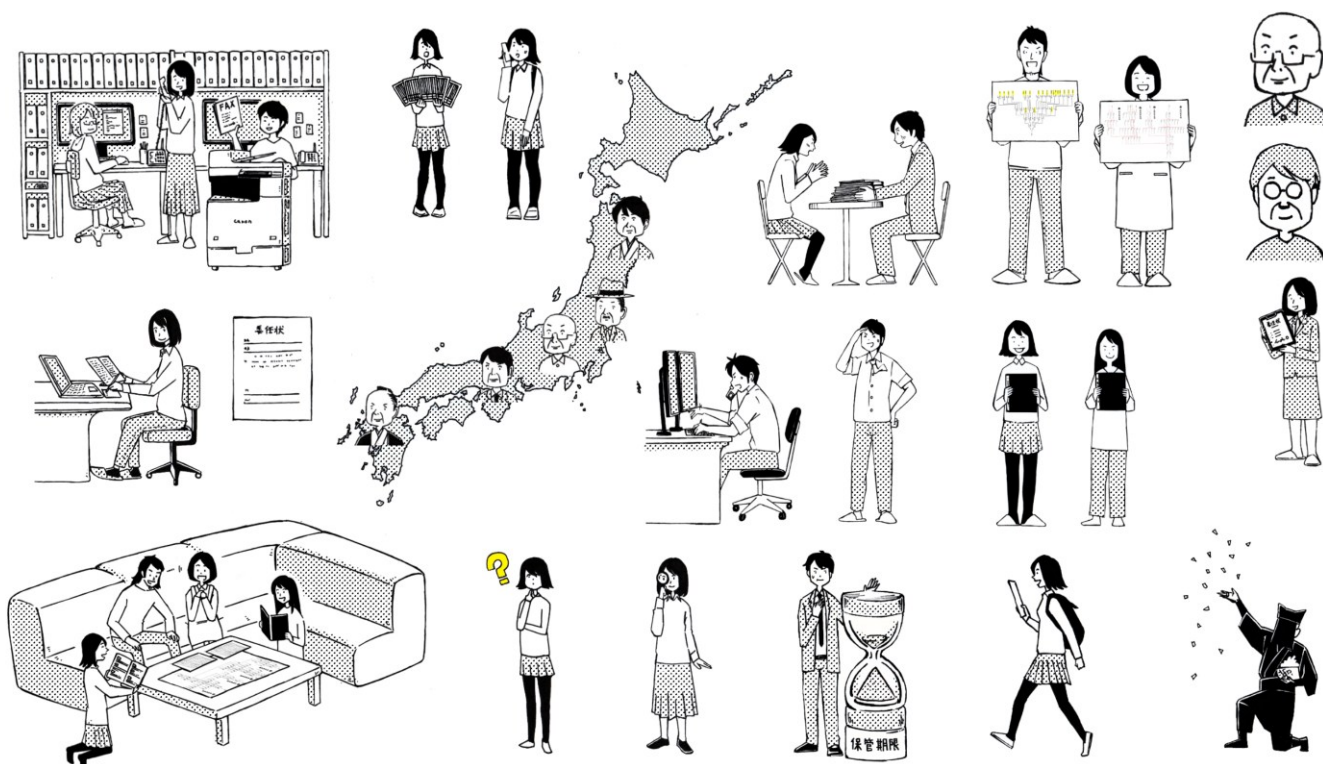
家宝 わたしの家系図物語 (ヒストリエ) コース

あなたの「家の物語」を、千年先へ。



目次

家系図調査パッケージ 家宝 わたしの家系図物語（ヒストリエ）コース.....	3
刻々と薄れていく、あなたのヒストリエ（家系図物語）	7
わたしの家系図物語（ヒストリエ）コース詳細	9
わたしの家系図物語（ヒストリエ）コースまとめ この調査で得られるもの	24
家系図が完成した、その先に。お客様からいただいた声	25
家宝ヒストリエコース 誕生・開発ストーリー	27
ご相談からご依頼までの流れ.....	29
ご依頼から完成までの流れ	30
さらに深く調べたい方へ 戸籍以上の調査.....	31
さらに家宝として残したい方へ 巻物・折本・掛軸・額装・冊子製本	33
料金表 家宝 わたしの家系図物語（ヒストリエ）コース.....	35
よくある質問.....	36
特定商取引法に基づく表記・お申込みにあたってのご案内.....	38



家系図は、いつか作ろうと思っているうちに、作れなくなってしまうものです。
戸籍には保存期限があり、古い記録や人の記憶も、時間とともに失われていきます。

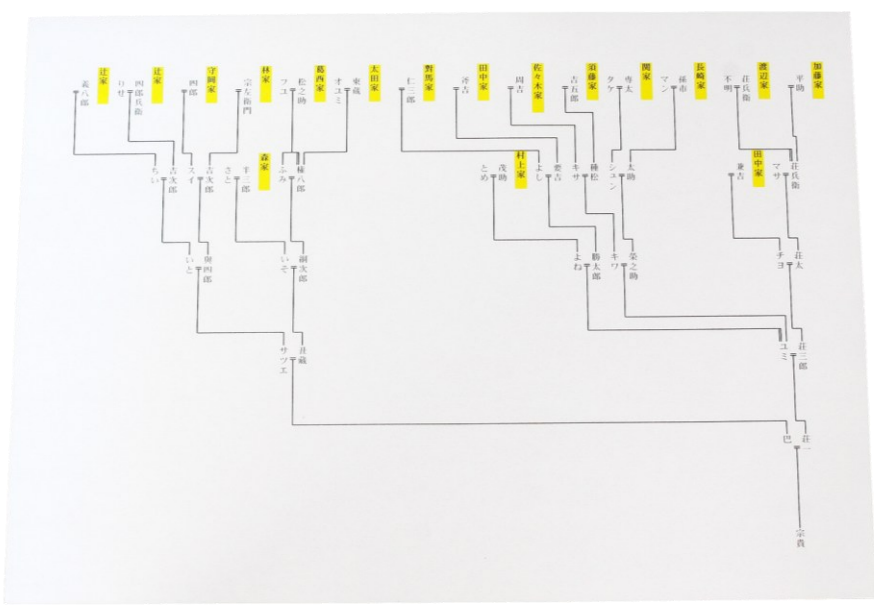
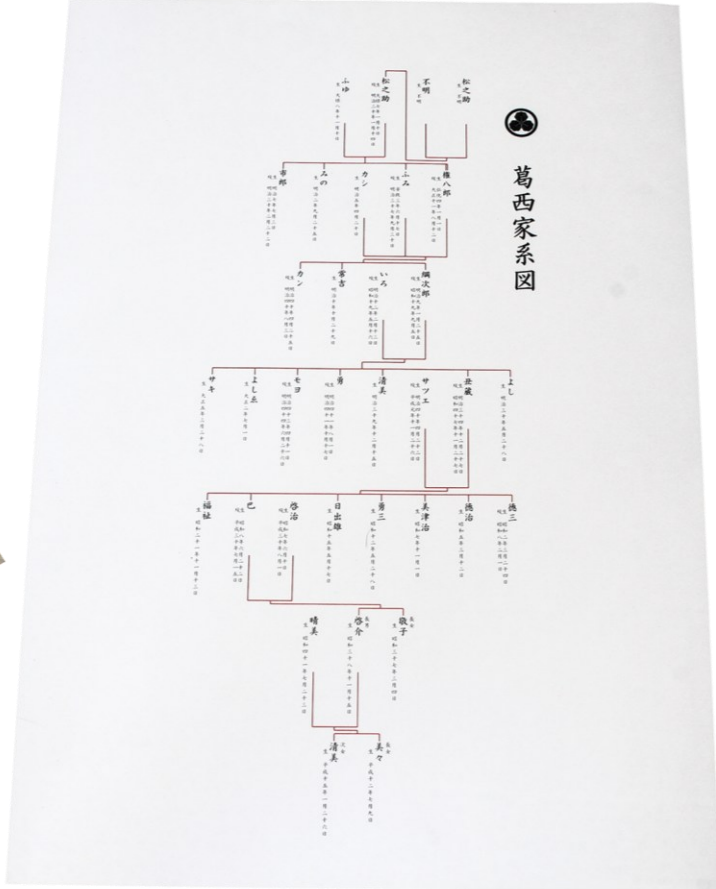


内容

- ・全家系の戸籍を網羅収集
- ・「全体のつながり」を俯瞰できる全体系図を作成
- ・祖父母四家系の詳細系図＋調査報告書＋家系譜

あなたの「家の物語」を千年先へ残す

家系図調査パッケージ「ヒストリエコース」は、現在取得できる戸籍を収集し、ご先祖様のつながりを家系図として整理するとともに、その背景にある家族の歴史を調査報告書や家系譜として残すサービスです。

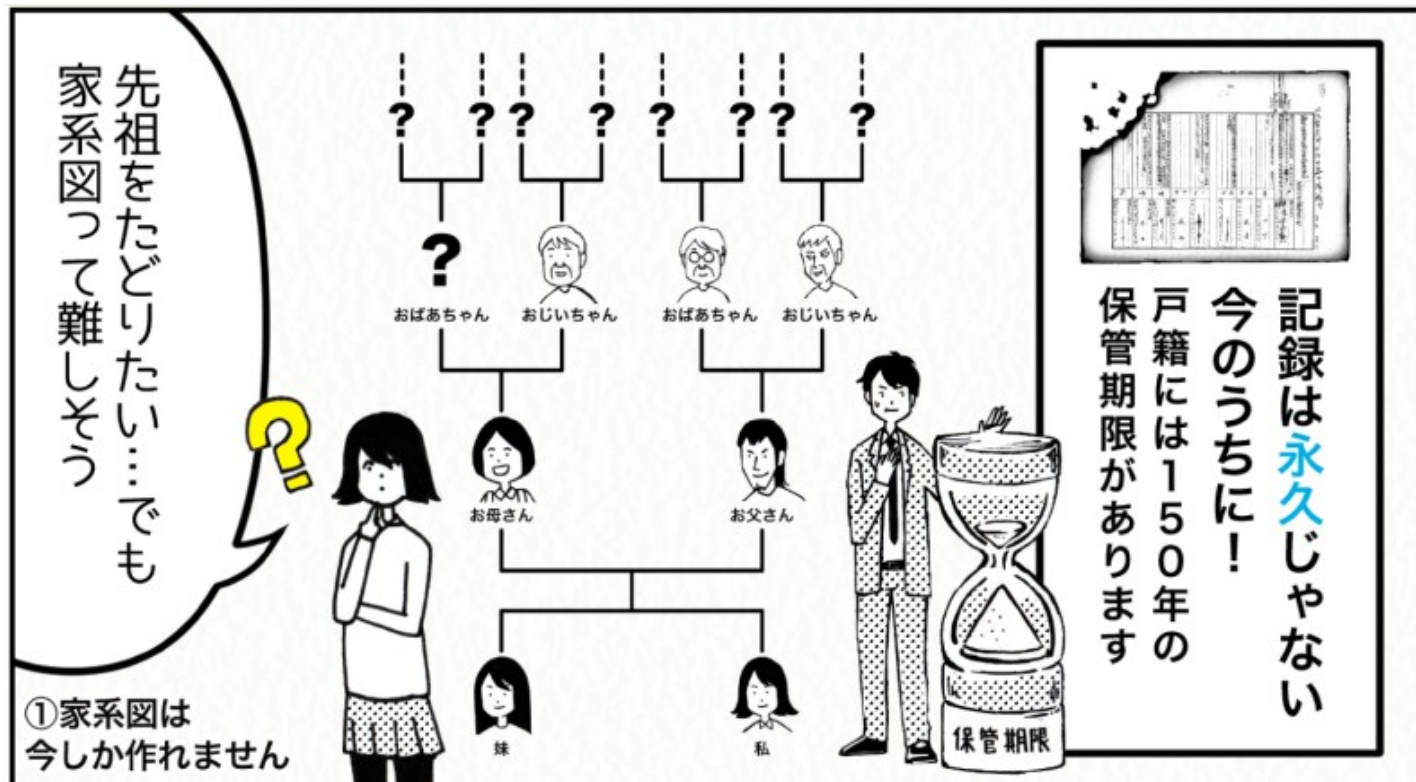


一般価格

- ・個人 ¥672,000 | ご夫婦 ¥1,344,000
- ※すべて税込・送料込 ※ご夫婦の場合は八家系に対応
- ※分割でのお支払いも可能です

全家系の戸籍を網羅収集

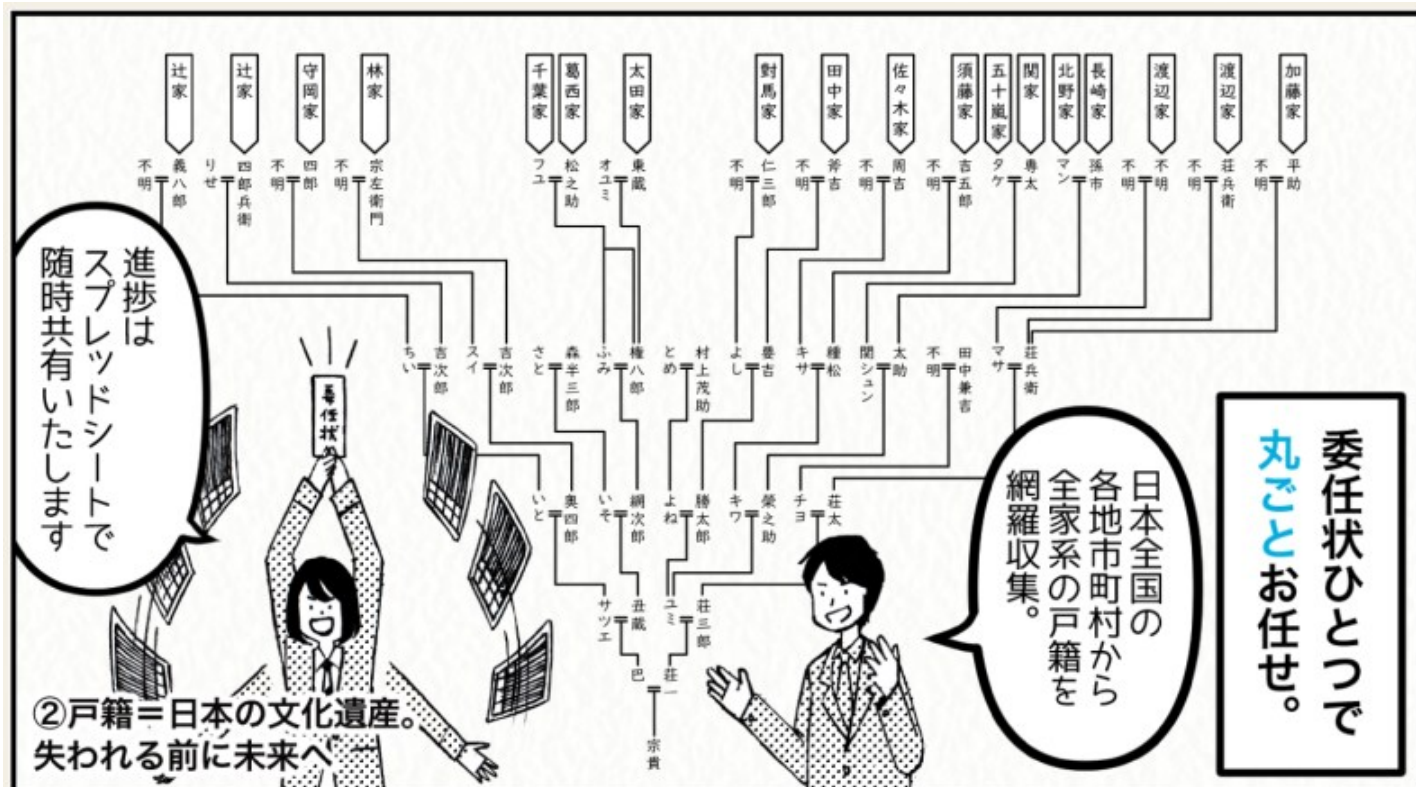
「自分のルーツを知りたいが、調べ方が分からない」——多くの方がこの壁で止まります。
戸籍の取得や読み解きには、専門的な知識と多くの時間が必要です。



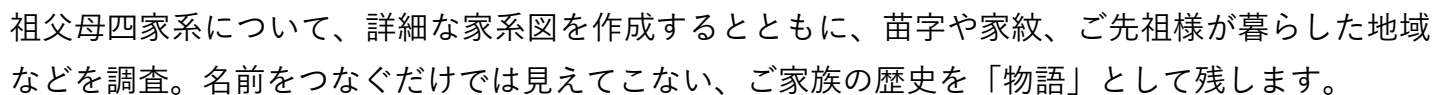
ヒストリエコースでは、委任状をご返送いただくだけ

複雑で時間のかかる戸籍の収集から読み解きまで、すべておまかせいただけます。

ご本人につながる全家系の戸籍を網羅的に収集し、ご先祖様をたどるための確かな土台を整えます。



収集した戸籍を読み解き、「全体系図」として整理します。自分がどのような家々からつながってきたのか、その全体像が見えてきます。

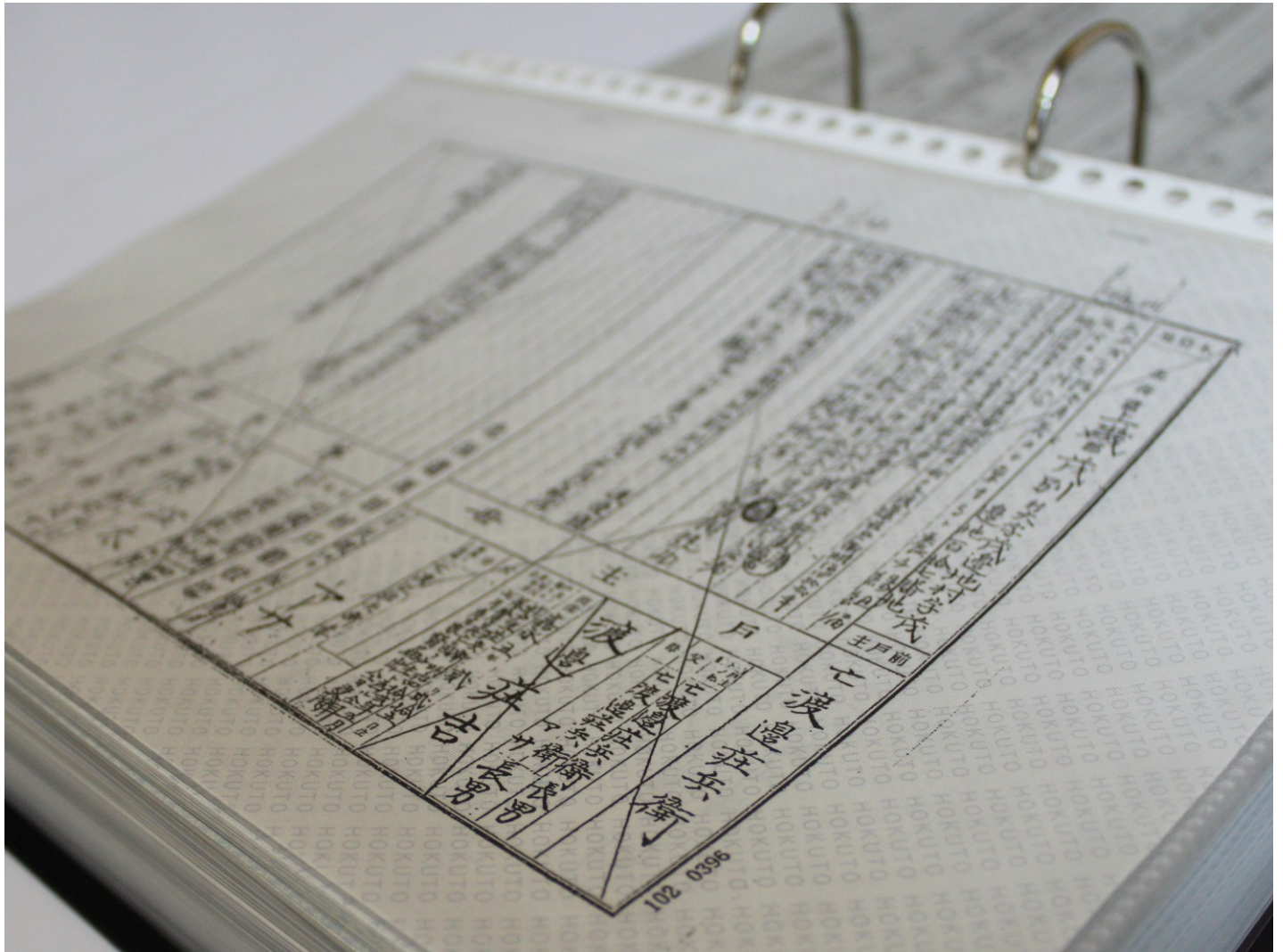


記録は永久ではありません。記憶は一度きりです。

古い戸籍や記録は、いつまでも残されているとは限りません。

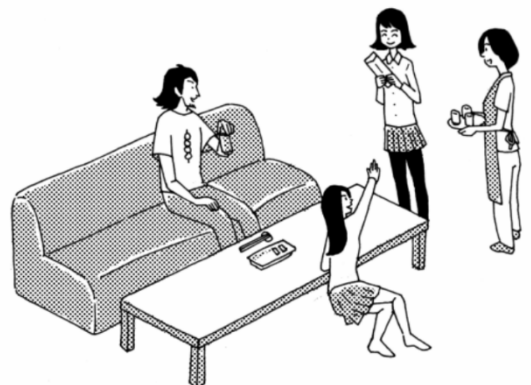
そして、ご家族しか知らない記憶も、時の流れとともに少しずつ失われていきます。

だからこそ、残されている記録と記憶を「今」集めておくことが、家族の歴史を未来へつなぐ第一歩になります。



このような方におすすめです

- ・自分の先祖をどこまでさかのぼれるのか知りたい方
- ・家族の歴史をきちんと調べて残しておきたい方
- ・子どもや孫、その先の世代へ家系図を残したい方
- ・戸籍の取得や調査を専門家に任せたい方



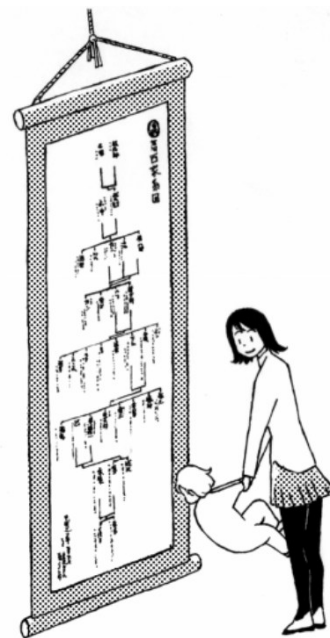
家系図は「今しか作れない」理由

家系図を作るためには、戸籍だけではなく、古い記録やご家族の記憶も大切な手掛かりになります。

戸籍には保存期間があり、寺院の過去帳や地域に残る資料も、将来にわたって同じように調査できるとは限りません。

さらに、ご両親や祖父母、ご親族から聞くことのできる昔の話や家の言い伝えは、その人がいなくなれば二度と聞くことができない場合があります。

記録と記憶が残されている「今」は、家系図を作るうえで、とても大切なタイミングなのです。



家系図を残すということ

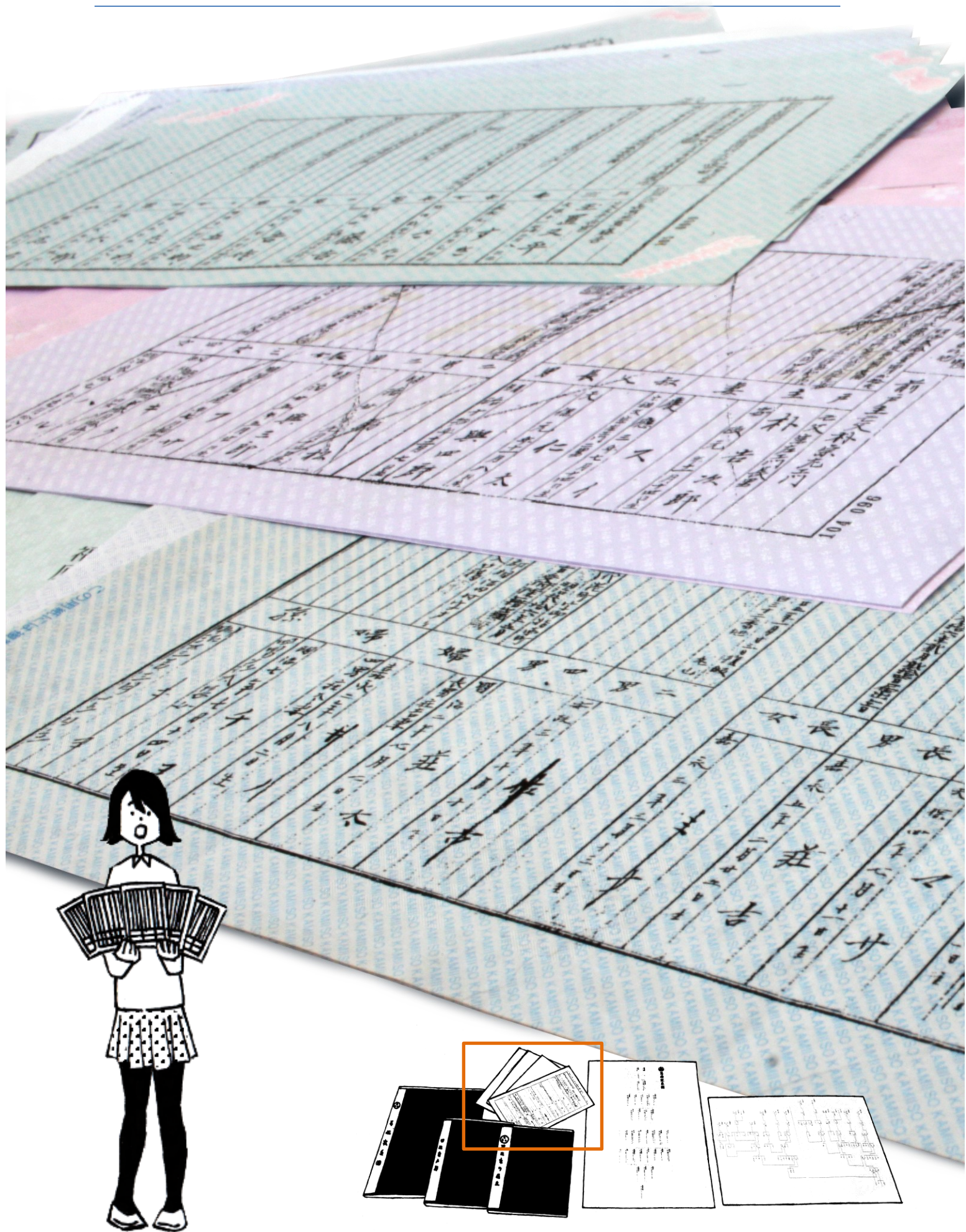
家系図は、過去を知るためだけのものではありません。

ご先祖様がどこで暮らし、どのように命をつないできたのか。その歩みを調べ、記録し、未来へ受け継いでいくものです。

今残した家系図や記録は、数十年後、数百年後のご家族にとって、かけがえのない財産になるかもしれません。

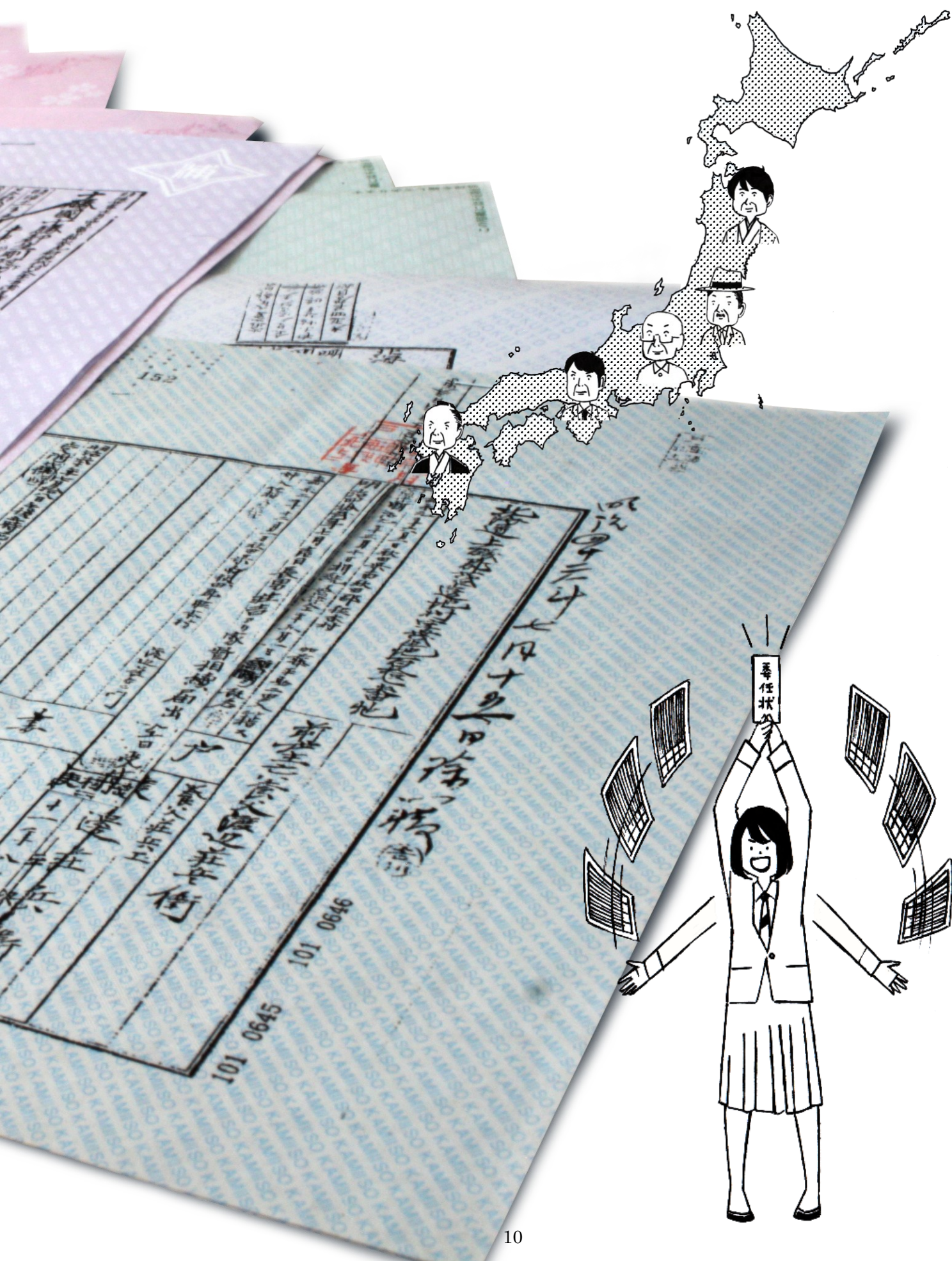
この調査が、千年先まで受け継がれる「我が家の歴史書」の第一歩になります。





全家系の戸籍を網羅収集

ご本人から父母、祖父母、曾祖父母へと、すべての家系の戸籍を可能な限りさかのぼって収集。



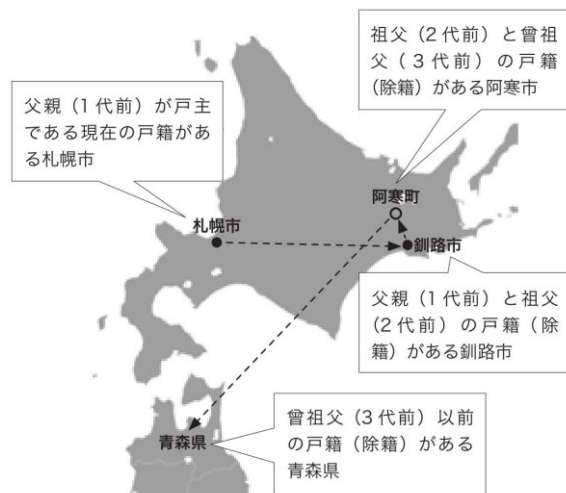
どこまで遡れる？

戸籍調査では、多くの場合、江戸時代末期から明治初期（約 150～200 年前）まで、平均して 4～5 世代前のご先祖様をたどることができます。

自分の戸籍から父母へ、父母から祖父母へ、さらにその前の世代へと、戸籍に記載された情報を手がかりに、ご先祖様が本籍を置いていた全国各地の役所へ順に戸籍を請求していきます。

代表・渡辺の場合

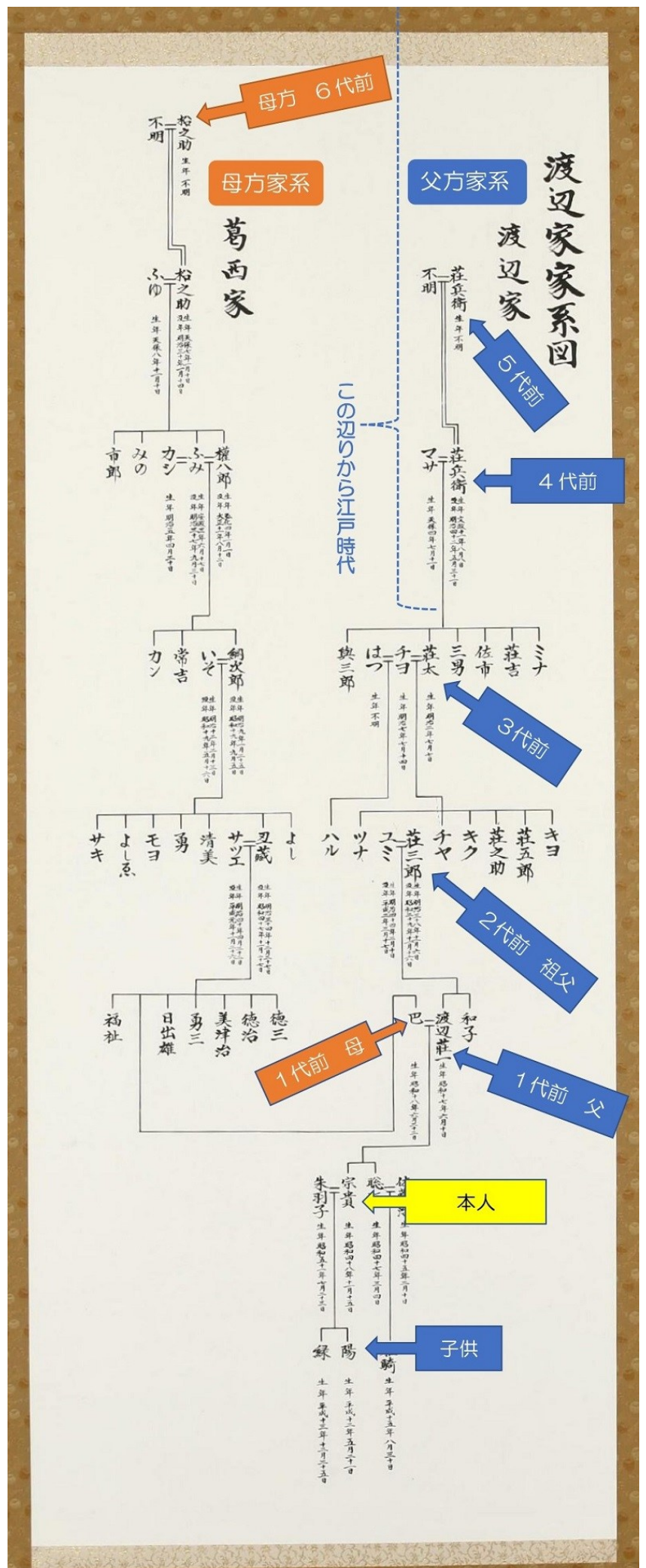
北海道出身の私自身も、戸籍をたどることで、父方は 5 代前の秋田県、母方は 6 代前の青森県までさかのぼり、江戸時代末期に生きていたご先祖様を確認することができました。



戸籍はいつまでも取得できません
除籍簿等の保存期間は 150 年とされています。

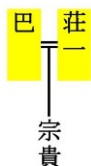
現在、一般に取得できる最古の戸籍は明治 19 年式戸籍です。

将来、制度や運用が見直される可能性もあるため、取得できる戸籍を今のうちに収集し、残しておくことにも大きな意味があります。

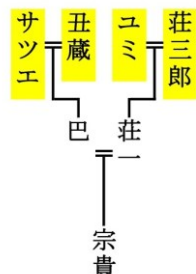


すべての家系とは？

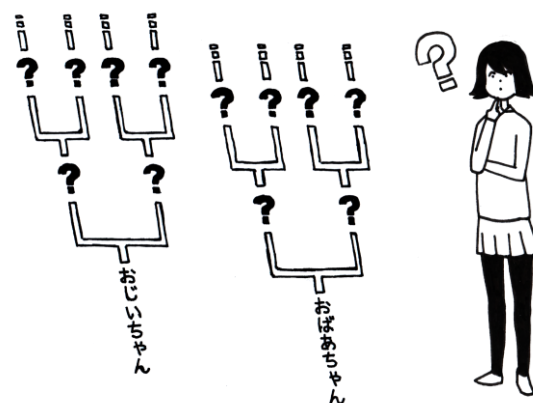
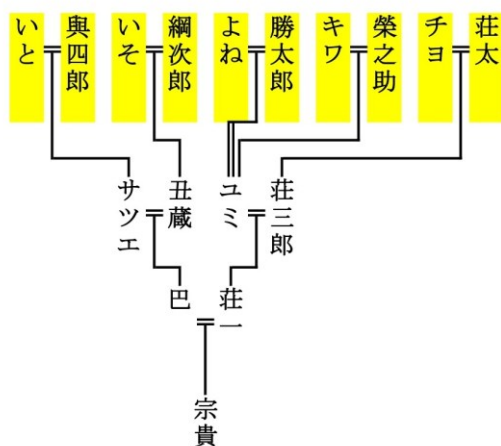
両親 2 人



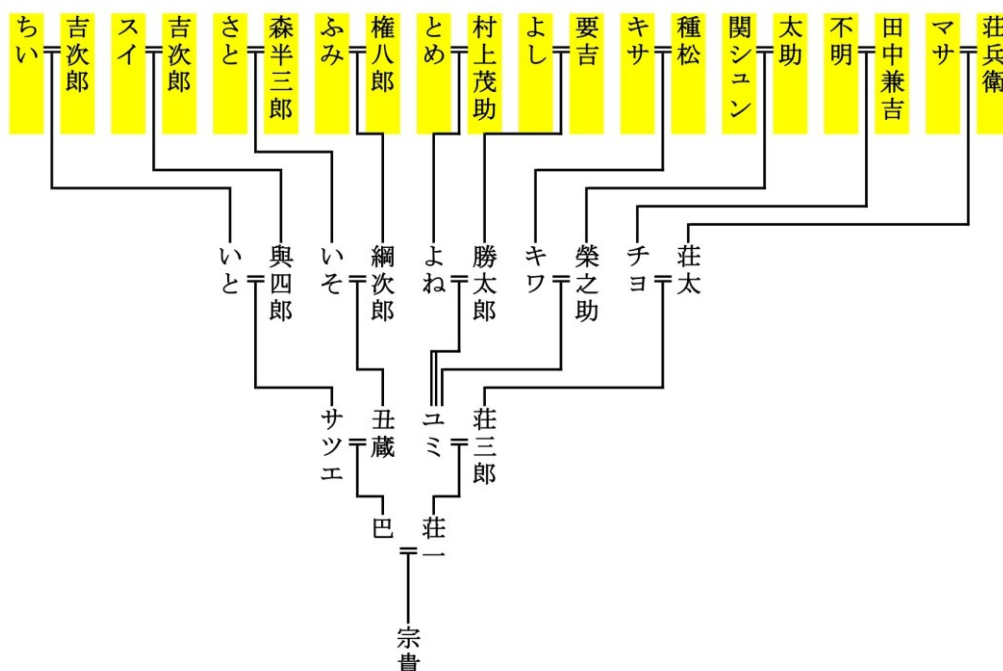
祖父母 4 人



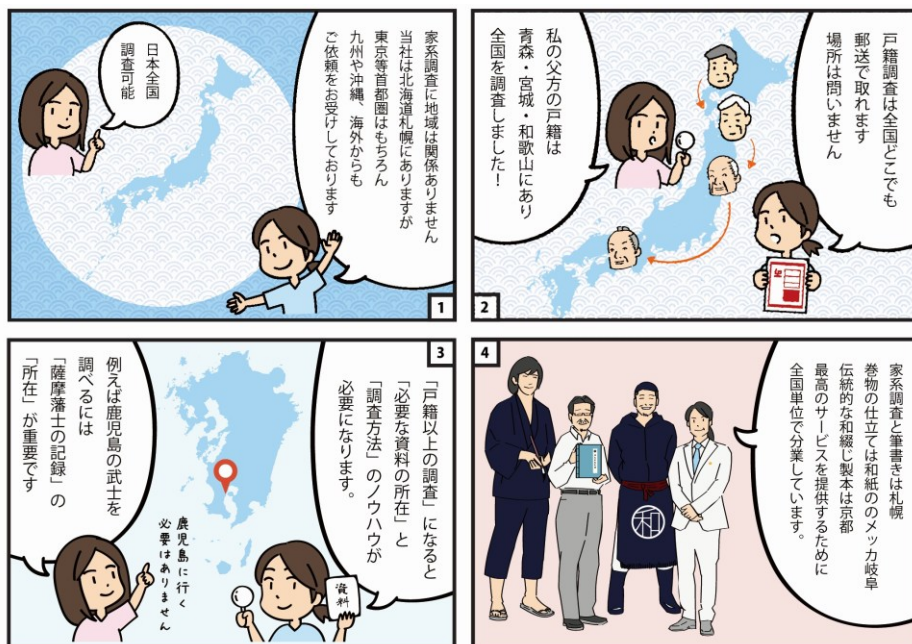
曾祖父母 8 人…と、世代をさかのぼるごとに倍々に増えていきます。



※養子家系があればさらに増加。配偶者を含めると対象が倍になります。ご夫婦で調査する場合は、お二人それぞれの家系を調査します。

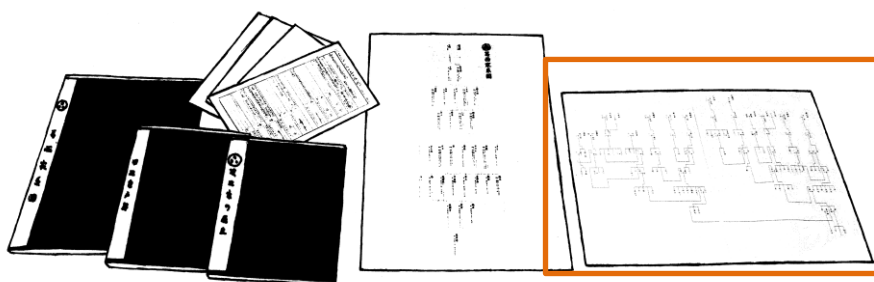
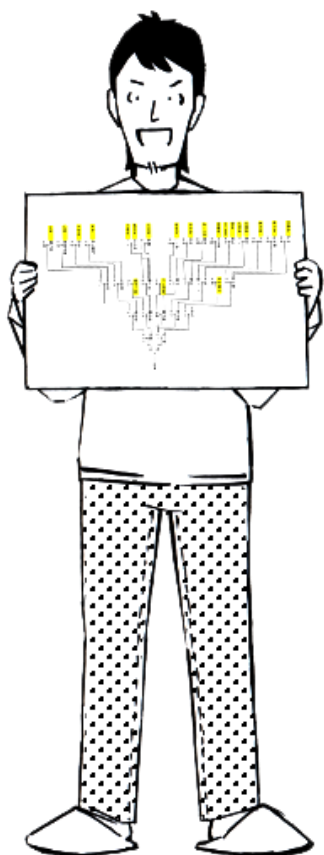
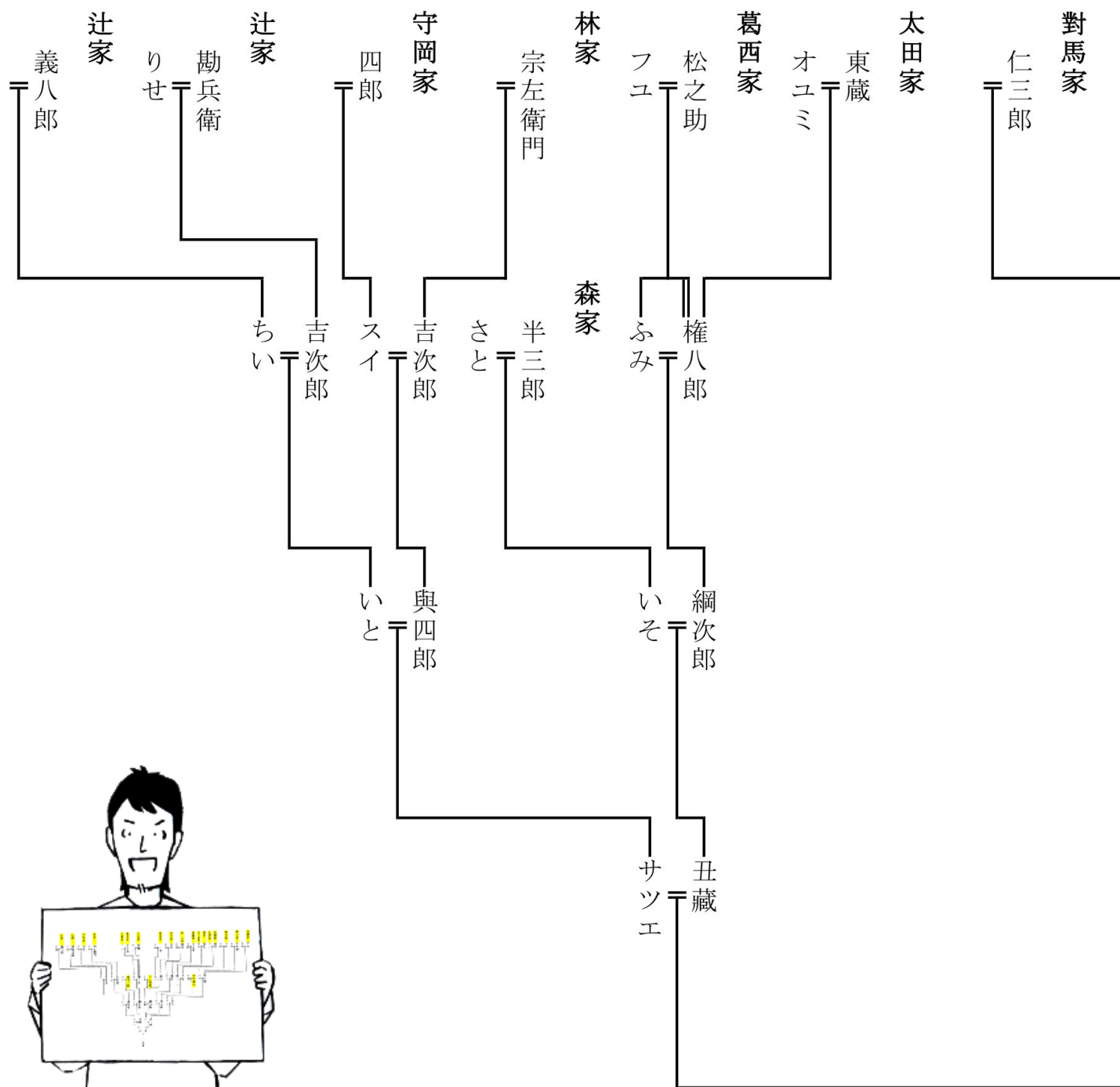


ヒストリエコースでは、一つの苗字、一つの家系だけではなく、ご本人につながるすべての家系を対象として戸籍を収集します。



全家系のつながりを俯瞰できる全体系図

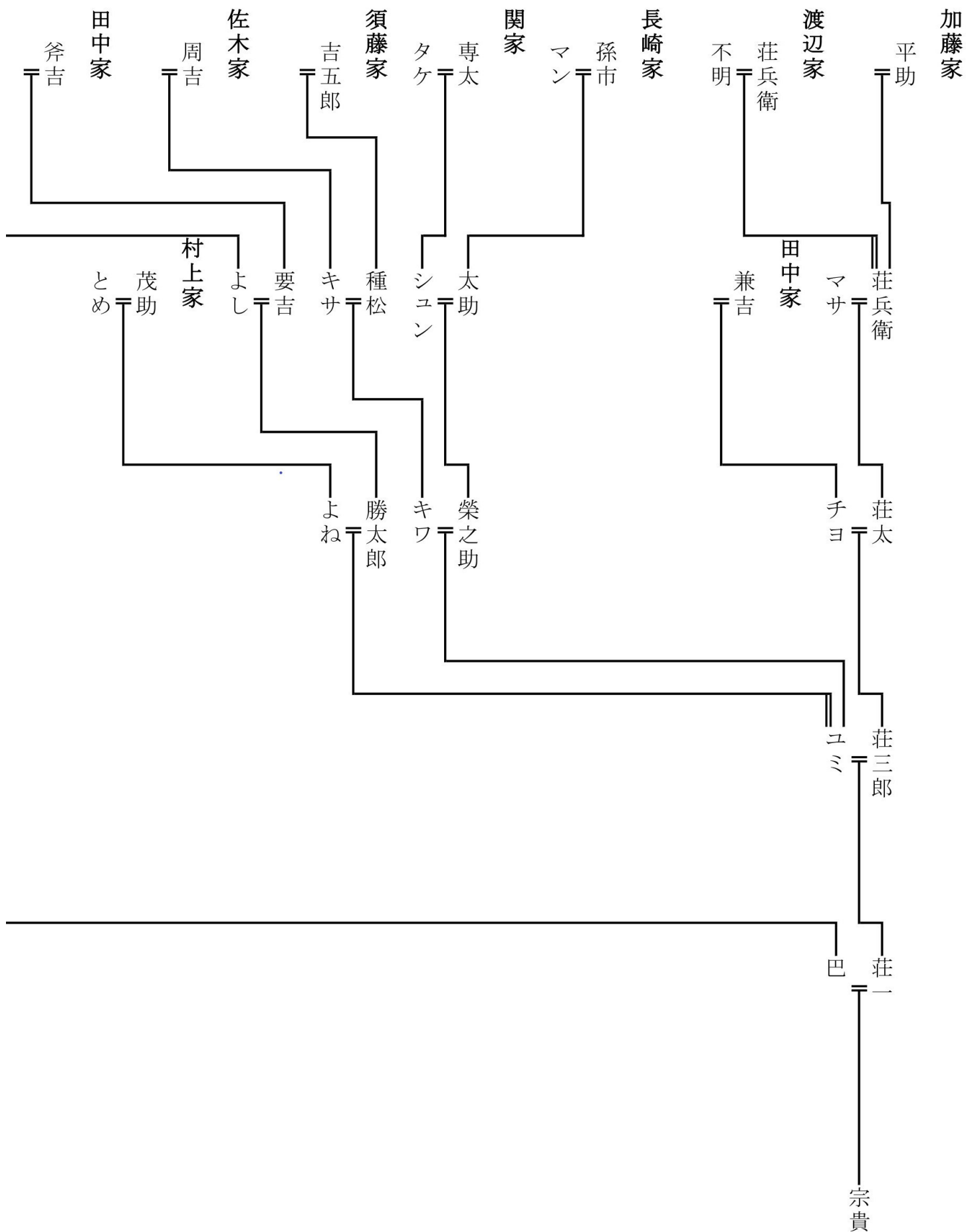
収集した戸籍から、複雑に広がるご先祖様のつながりを、一目で俯瞰できる「全体系図」として整理します。一つの家系だけではなく、父方・母方へと枝分かれしていくすべての家系をつなぐことで、「自分がどのような家々からつながってきたのか」を一枚の家系図で見ることができます。



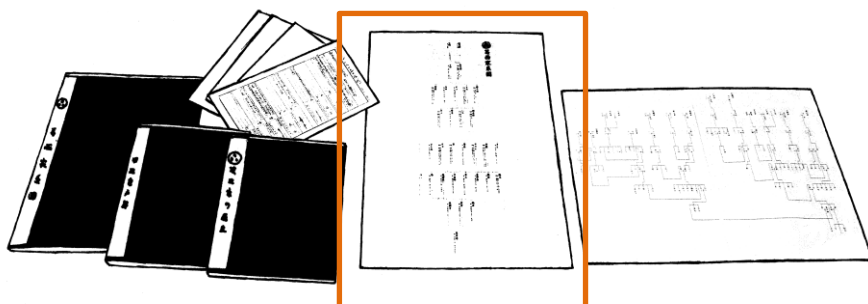
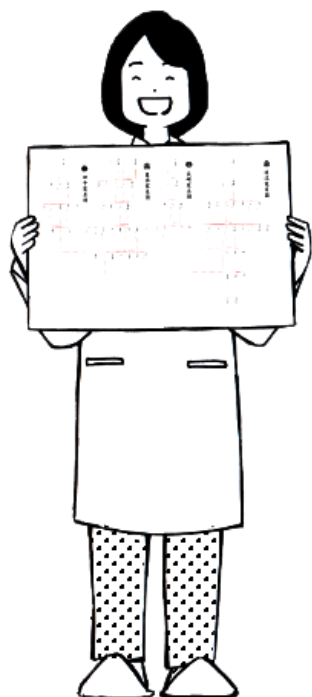
代表・渡辺の場合

私自身の家系を調べたところ、父方の「渡辺家」、父方祖母の「長崎家」、母方の「葛西家」など、祖父母の四姓からさらに家系が広がり、養子家系を含めて計 21 家のルーツが判明しました。

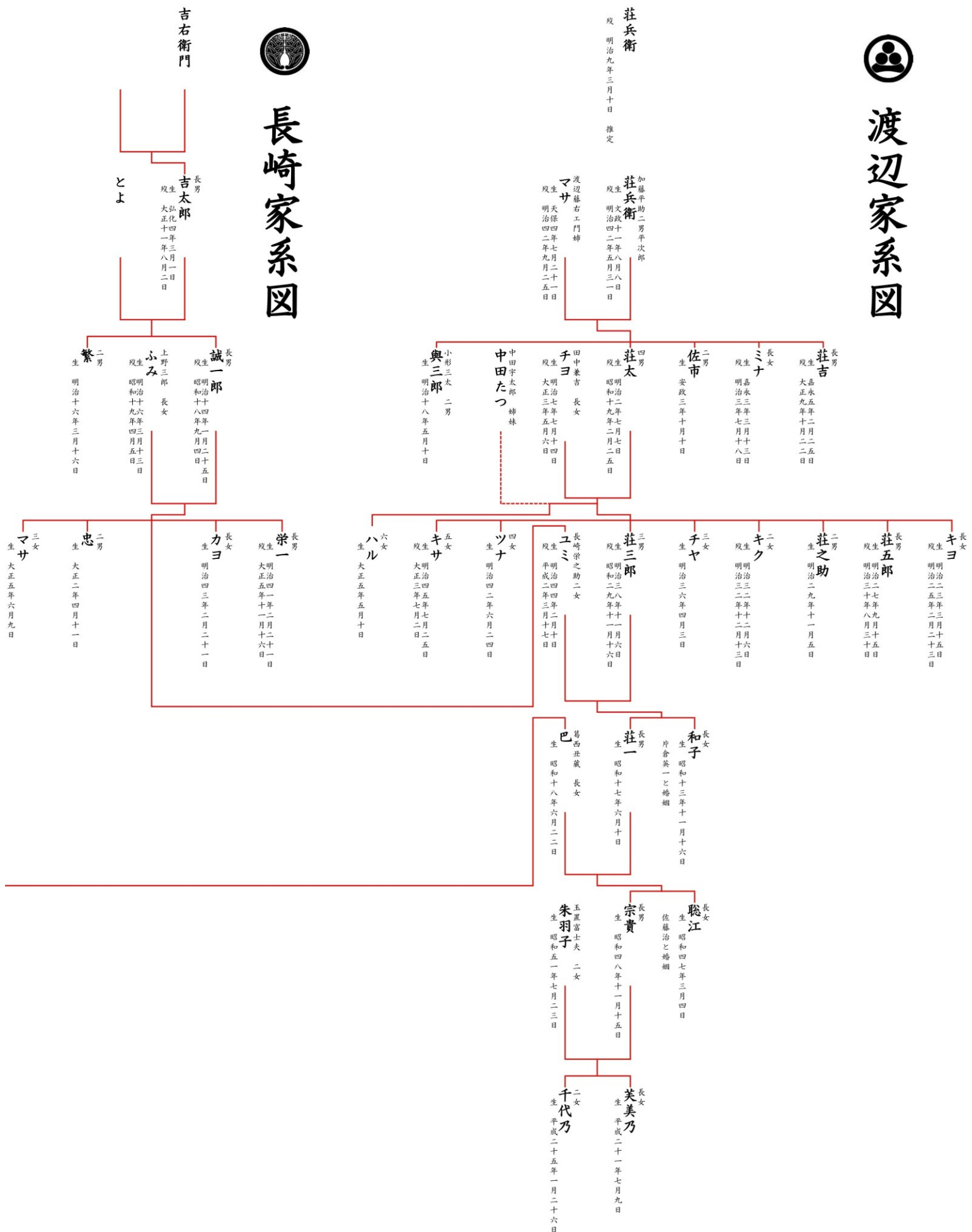
※最終的に判明する家系数は個人差があります（平均 15-20 家以上）。



祖父母四家系については、「詳細系図」を作成。直系のご先祖様だけでなく、その兄弟姉妹、生没年月日など、戸籍から判明した情報をできる限り掲載。伝統的な系図作成様式に準拠して仕上げます。

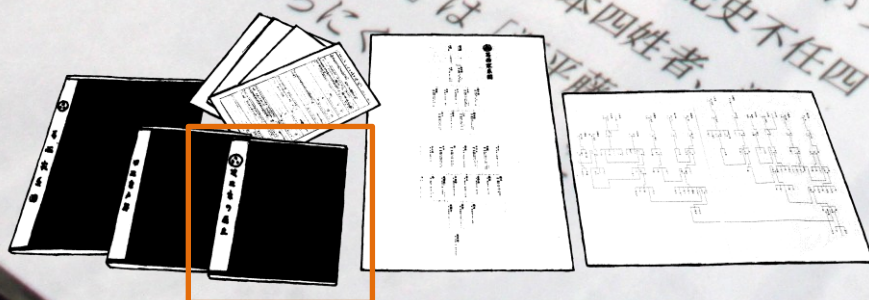


- ・ 詳細系図：一家系ごとに A3 見開きで作成
 - ・ 四家系総合系図：祖父母四家系を一望できる A3 見開きで作成
- さらに、この四家系それぞれについて、「調査報告書」と「家系譜」を作成します。



★ 祖父母四家系の詳細系図 + 調査報告書 + 家系譜

「調査報告書」では、苗字・家紋・家に伝わる聞き伝えなどを、地名辞典・苗字辞典・人名録などの基礎調査資料と照合し、ご先祖様のルーツや江戸時代の暮らしぶりを読み解いていきます。



「分かったこと」と「推測」を明確に区別

祖父母四家系それぞれについて作成し、調査によって分かったことと、推測の域を出ないことを区別しながら、「確定」「有力」「仮説」など段階を分けてご報告します。

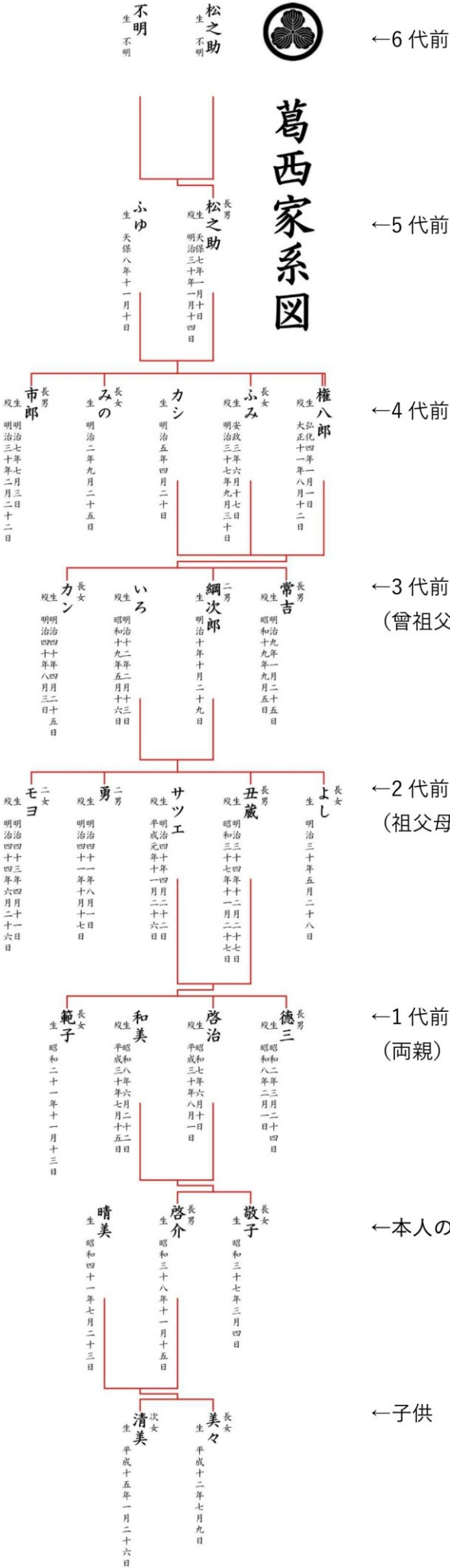


調査前に分かっていたこと

居住地は北海道。祖父（2代前）の氏名さえ曖昧で、それ以前のご先祖様がどこから来たのか、家紋は何だったのかなど、家系についての情報はほとんど残っていませんでした。

戸籍から6代前のご先祖様へ
まず戸籍を一つひとつたどったところ、6代前のご先祖様までさかのぼることができ、青森県の特定の村に本籍・居住の痕跡があることが確認できました。
ここまでは、戸籍という公的資料によって確認できた「事実」です。

青森縣南津輕郡飯田村字五番地									
明治三十八年一月十四日 死亡									
本妻津輕郡音瀬村 十條屋門下入籍ス									
子 嘉子 明治三十八年十月七日 願濟 廢嫡 西 明治三十八年十月十日 永村 丸									
字 飯田 辛五番戸へ分家ス									
男 長									
妻									
主 戸									
前主 主又葛西松之助									
主又松之助茂男									
葛西松之助									
天保七年一月十日 生									
少男									
大保八年十月十日 生									
權八郎									
弘化四年一日一日 生									



江戸

明治

大正

昭和

平成

令和

「葛西」という苗字のルーツを調べる

次に、全国的な苗字辞典や姓氏関係資料などを調査しました。

「葛西」という苗字には、現在の東京都葛飾周辺の地名を起源とする系統があること、「葛西」一族が中世に東北地方へ進出し、「奥州葛西氏」として勢力を広げていった歴史が見えてきます。

現在の苗字分布を調べる

さらに電子電話帳などから葛西姓の全国的な分布を確認すると、現在も東北地方に広く分布していることが分かりました。

中世に東北へ進出した葛西氏の歴史と、現在の葛西姓の分布を重ねることで、東京周辺を発祥とする葛西姓が、なぜ現在の東北地方に多く見られるのか、その歴史的な背景が見えてきます。

では、青森県で確認された私の葛西家も、この「奥州葛西氏」と関係があるのでしょうか。

地域に残る「葛西姓」の記録を調べる

青森地域の資料を調べると、14世紀後半には葛西姓の記録が確認され、さらに当家の本籍地周辺には、戦国時代の16世紀に同姓の武将が存在した記録も残されています。

戦国時代の葛西氏とつながるのか？

ここから先は「事実」ではなく「仮説」です。

戦国時代に当地周辺に存在した同姓の系譜が、その後帰農し、当家へとつながった可能性も考えられます。しかし、現段階では戦国期の葛西氏と当家を直接結びつける史料は確認できていません。

そのため、こうした可能性については断定せず、史料から確認できた事実と区別したうえで、【推測されるルーツ・苗字の由来】として調査報告書にまとめます。

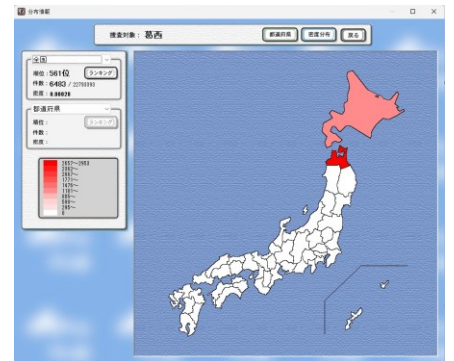
≪報告書抜粋≫

宮城県から青森県にかけて葛西家は広く分布していますが、その家系をさかのぼると、下総（しもうさ）国葛西郡葛西御厨（みくりや）から発祥したといわれています。御厨とは古代の神社領のことで、葛西御厨は現在の東京都葛飾区と江戸川区の付近にありました。葛飾の西にあるので葛西といいます。

葛西氏は、この地に第50代桓武（かんむ）天皇の流れをくむ清重が住み着き、葛西三郎と名乗ったことに始まります。葛西清重は鎌倉幕府を開いた源頼朝の家臣となり、文治5年（1189）の奥州征伐に従軍して大いに活躍し、現在の岩手県南部から宮城県北部におよぶ広大な土地を恩賞として与えられました。その嫡流は戦国大名となり、現在の宮城県登米市迫町佐沼にあった佐沼城を居城として葛西晴信まで続きましたが、豊臣秀吉の小田原陣に参陣しなかったため滅亡しました。しかし、その間に葛西一族は北上を続け、南北朝のころには青森県にまで広がっていました。

当家の出身地である飯田のそばには戦国時代、滝井館という城郭があり、北畠顕範という武将がいました。当家の先祖はその家臣の一人だったかも知れません。そして滝井館が天正6年（1578）、津軽為信によって攻め落とされたとき、飯田に逃れて農民になったのかも知れません。

葛西 カサイ カツサイ 下総葛飾郡葛西より起る。葛西は葛飾郡の意なり、中世葛西郡の私稱あり。後伊勢神宮領となり、葛西御厨と云ふ。檢校文書永萬元年察頭占部宿禰安光解、申請紛失日記事に「皇太神宮御領下總國葛西御厨云々、合參拾参郷、上葛西、下葛西、右當御厨は、本願主葛西三郎散位平朝臣清重、先祖以來、本田數の屋敷に任せ、永く伊勢太神宮に寄せ奉らしむる所、嚴重一圓の神領也」と。
1 桓武平氏豊島氏流 葛西氏は三郎清重より出づ。清重は豊島權守清光の子と傳へらる。果して然らば、清重は葛飾地方に古くより存せし名族の遺跡を繼承せしものか。之に對して、葛西系圖は「平良文



だいたいこうじょう 大光寺城〈平賀町〉

中世〜近世初期の平城。南津軽郡平賀町大光寺三村井に所在。平賀町中心部から北西1kmに位置する。大光寺集落全体が城域。平地の微高地に築城され、六羽川を西方の守りとした。現在大部分が宅地になったため旧状を知ることは難しいが、主郭・二の郭・北郭・袖郭で構成されていたとされる。この地を最初に勢力下においた曾我氏は、相模国に本領を持つ鎌倉御家人で、執権北条義時の地頭代として平賀郡に入ったとされる。その後、最初の地頭代曾我広忠の子助光は大光寺、弟惟重は岩楯（岩館）に住む。建武の新政の時、大光寺曾我氏は幕府方、岩楯曾我氏は朝廷方として相争う。幕府方は敗れて石川城（弘前市）に逃れ、さらに持寄城（相馬村か）に立籠るが、曾我入道道性は捕らえられ、その子重経は戦死し、大光寺曾我氏は滅亡。岩楯曾我氏は恩賞に平賀・岩楯・沼楯を安堵され、勢力を拡大する。応永年間奥州総奉行葛西三郎清重の後裔といわれる葛西頼清が藤崎城（藤崎町）安藤（安東）氏に帰属して大光寺城主となり、南部氏に対抗する。しかし、永享年間三戸南部13代守行に攻撃されて戦死。天文年間に作られた津軽郡中名字に「鼻和郡三千八百町は大浦の屋形南部信弘源盛信と申也 平賀郡二千八百町は大光寺南部遠源盛政と申也 田舎郡二千八百町奥法郡二千余町沼深保内一千貫は浪岡御所源具永卿也」とあるから、葛西氏滅亡後、南部政行が南部から派遣されたと思われる。その子信愛が病死した後、滝井播磨重行が城代となる。天正3年大浦為信の攻撃により曾我氏から続いた大光寺城はここに滅びる。為信は乳井大隅守建清、次いで慶長4年に津軽左馬助建広を城主とした。しかし、為信の死後、後継問題で意見の対立があり、建広は慶長13年大光寺城を去る。同15年弘前城築城にあたり、大光寺城は取り壊され、移築された。追手門は弘前城北門（一名亀甲門、国重文）に、誓願寺山門（国重文）もまた大光寺城から移されたものである。

江戸時代には、どのような暮らしをしていたのか？

戸籍で判明した本籍地について、地名辞典や郷土資料、電話帳などを調査します。その結果、当家の本籍地は江戸時代から続く農村地域であり、現在も30軒以上の葛西姓が集中していることが確認できました。これらの情報を総合すると、当家は江戸時代に農業を営み、古くから当地に定着していた家系である可能性が高いと考えられます。また、現在も同姓世帯が多数集中していることから、当地で分家を重ねながら広がっていった可能性も考えられます。

養子・婚姻によってつながった家も調べます

戸籍から判明した養子・婚姻関係についても、関連資料を調査します。葛西家へ養子に入った横沢村の太田家については、地元資料に「横沢村の草分け家と伝えられ、代々源兵衛を称した」とあり、古い位牌も残されていることが分かりました。さらに、屋号や菩提寺、酒屋を営んでいたこと、のちに医家であったことなど、戸籍だけでは分からない歴史も見えてきました。こうした結果も、事実と推測を区別し、【推測される江戸時代の身分・職業】として根拠資料とともに文章化します。

＜報告書抜粋＞

飯田村(現・青森県北津軽郡板柳町飯田)は、江戸時代に津軽平野の新田開発によって形成された中規模の農村でした。貞享元年(一六八四)の郷村帳に村高六八五・五石と記され、寛文年間(一六六一～七三)頃から開発が進み、百姓七十七人を抱える生産力の高い村であったことがわかります。藩政期には藤崎組に属し、枝川母堰や五所川原堰を利用して稲作中心の農業を行い、漆木の生産もみられました。明治初年の「新撰陸奥国誌」によれば家数七一戸、「土地中之中、藍を多く殖う」とあり、農業に加えて藍作も盛んであったことがうかがえます。

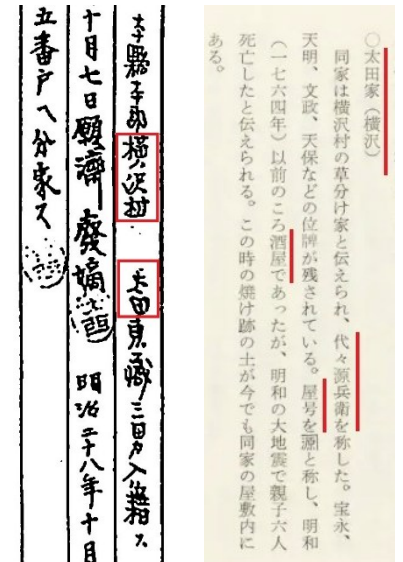
当家には江戸期の家系図や過去帳は残されていませんが、古い除籍簿の記載から飯田村の住人であったことは確実です。飯田村は正保年間(一六四四～四八)以降に開発された村で、明治初期には弘前藩士が藩命によって移住した事例もわずかにみられます。しかし、その数は少なく、葛西姓が飯田地区に多数集中していることを考えると、当家は明治初期に移住した士族ではなく、江戸時代から当地に定着していた農民の一族であった可能性が高いと考えられます。

二〇〇九年のNTT電話帳では、葛西姓は全国で六四八三軒(五六一位)、青森県で二九五三軒(県内一二位)、北津軽郡板柳町で一四三軒(町内五位)、そのうち飯田地区だけで三二軒が確認されています。小さな地域にこれだけ多くの同姓が集中していることから、飯田の葛西家は古くから当地に定着し、長い年月をかけて本家から多数の分家を生じた一族であった可能性が高いとみられます。これほど多くの分家を生じるためには、一定の土地や経済的基盤が必要であったと考えられるため、その総本家は飯田村でも比較的有力な農家であった可能性があります。また、新田開発によって成立した村であることを考えると、その初期に入植して開発に携わった草分け層の一つであった可能性も考えられます。

さらに、当家の権八郎氏の実父は横沢村の太田家です。地元資料によると、太田家は「横沢村の草分け家」と伝えられ、代々「源兵衛」を称していました。宝永・天明・文政・天保年間などの位牌が残され、屋号や菩提寺も判明しているほか、幕末には医家であったことも確認できます。このことから、太田家は少なくとも江戸時代前期から当地に定着していた旧家であり、村内でも一定の社会的地位を有した家であったと考えられます。権八郎氏がこの太田家から当家へ入ったことも、葛西家の社会的な位置づけを考えるうえで重要です。江戸時代から明治初期にかけての婚姻や養子縁組では、家の経済力や地域社会における立場などが考慮されることも多く、草分け家であり、のちに医家ともなった太田家と縁を結んでいることは、葛西家もまた地域で一定の信用や経済的基盤を有する家であった可能性を補強する材料となります。

いいだ 飯田(板柳町)

津軽平野中央部、岩木川中流右岸に位置する。
〔近世〕飯田村 江戸期～明治22年の村名。津軽郡田舎庄のうち。弘前藩領。村高は、「貞享郷村帳」685石余、「貞享4年検地水帳」610石余(田425石余・畑屋敷184石余)、「寛保高辻帳」685石余、「天保郷帳」585石余、「旧高旧領」452石余。「貞享4年検地水帳」によれば、小字に「柳田・沼田」があり、反別は田47町余・畑45町余、屋敷地4反余(うち郷藏屋敷25歩)、ほかに村中抱えの田畑地、永荒田、村中抱えの地藏堂地、助十郎抱えの観音堂地などがある。元禄3年には藤崎組に属し、村位は中(平山日記)。享保10年には当村の郷侍として高杉新五郎の名が見える(同前)。藩は寛政改革の一環として、荒廃田畑の復興をめざし藩士の帰農土着政策を推進したが、寛政7年当村に割り当てられた在宅者は御留守居与力島安兵衛1人であった(板柳町誌)。天保年間には枝川母堰の水下に編成されていた(津軽平野開拓史)。明治4年弘前県を経て、青森県に所属。同11年南津軽郡に属す。明治3年知藩事津軽承昭が10町歩以上の耕地所有者に耕地



調査に使用した資料も、すべてお渡しします
調査報告書の作成には、公的・標準的な参考
資料を中心に使用します。

- ・『地名辞典』／地域の歴史・地名の由来
- ・『苗字辞典・人名録』／苗字の分布・人物記録
- ・『姓氏家系辞典』／系譜・氏族の来歴
- ・『家紋辞典』／家紋の由来・使用例
- ・『電話帳リスト』／同姓世帯の分布



調査に使用した資料は、出典を明記した根拠
資料として整理し、調査報告書・家系図などの成果物とともに納品します。

さらに古い時代へ――一次の調査方針もご提案します

ヒストリエコースの調査によって、さらに古い時代へさかのぼれる可能性が見えてきた場合には、
次の段階としてどのような調査が必要なのかもご提案します。

葛西家の場合には、次のような調査が考えられます。

1. 同姓世帯へのアンケート調査

本家筋・菩提寺・墓所の特定、家紋や聞き伝えなどを確認。

2. 郷土資料の追加調査

村誌・庄屋文書・人名録・旧土地台帳などから、江戸時代における家系の連続性を検証。

3. 寺院への照会

菩提寺の過去帳や墓誌などから、さらに古いご先祖様とのつながりを探索。

※これらの追加調査はヒストリエコースには含まれません。各家系の「つながる可能性」「残されて
いる資料」「地域の状況」などによって、必要な調査方法や費用は異なります。

「戸籍以上の調査」のお見積りも可能です

ヒストリエコースで判明した戸籍上の情報や基礎調査の結果をもとに、「今、どの調査を行うべきか」「どこまでさかのぼれる可能性があるのか」を検討し、その家系に合わせた「戸籍以上の調査」の調査方針とお見積りを作成することも可能です。

すべての調査を行う必要はありません。調査の可能性や優先順位、ご予算などを踏まえ、必要な調査をご提案します。



★ 祖父母四家系の詳細系図＋調査報告書＋家系譜

家系図だけでは載せきれない、生年月日、婚姻、督相続、死亡年月日など、戸籍から分かる情報を時系列に整理します。系図では「つながり」を、家系譜では「一人ひとりの人生」を記録し、ご先祖様の歩みを後世に残します。

第三章 葛西家系譜

葛西 松之助	
父 不明	母 不明
詳細不明	

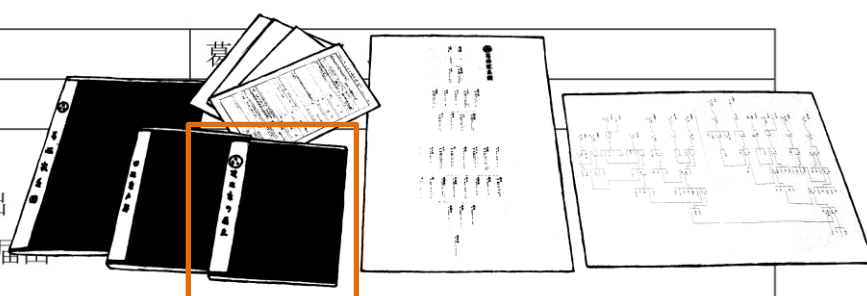
葛西 松之助	葛西松之助 長男
父 葛西 松之助	母 不明
天保7年1月10日 出生	
年月日不詳 千葉フユと婚姻届出	
明治30年1月14日 死亡	

葛西 ふゆ	加賀幸次郎 二女
父 加賀 幸次郎	母 不明
天保8年11月10日 出生	
年月日不詳 葛西松之助と婚姻届出	

葛西 権八郎	加賀幸太郎 三男
父 加賀 幸太郎	母 不明
弘化4年1月1日 出生	
明治28年10月7日 廃嫡届出	
明治28年10月10日 分家届出	
大正4年5月19日 隠居届出	
大正11年8月12日 死亡	

葛西 ふみ	葛西松之助 ふゆ 長女
父 葛西 松之助	母 葛西 ふゆ
安政3年6月17日 出生	
明治37年9月30日 死亡	

葛西 綱次郎	葛西 綱次郎
父 葛西 権八郎	
明治9年1月25日 出生	
明治29年2月13日 婚姻届出	
大正4年8月17日 家督相続届出	
昭和19年9月5日 死亡	



時を超える記録 — 今だからこそ残せる、ご先祖様の戸籍一式 —

現在取得できる全家系の戸籍を収集し、一式にまとめて保存します。

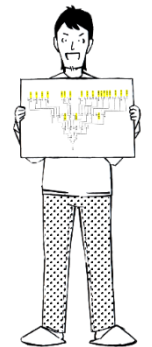
将来、取得や確認が難しくなる可能性のある古い戸籍も、今収集しておくことで、ご家族の大切な記録として次の世代へ受け継ぐことができます。



一族の絆の証 — 複雑なつながりが一目でわかる、圧巻の全体系図 —

収集した戸籍を読み解き、複雑に広がる全家系のつながりを一枚の「全体系図」に整理します。

父方・母方へと広がるいくつもの家系をたどることで、数多くのご先祖様から「今の自分」へと命がつながってきた道筋を実感できます。



感動の物語 — ご先祖様一人ひとりに想いを馳せる、詳細系図+調査報告書+家系譜

祖父母四家系それぞれについて、「詳細系図」「調査報告書」「家系譜」を作成します。

江戸時代末期のご先祖様から現在までのつながりだけでなく、苗字や家紋、暮らしていた土地、推測されるルーツや暮らしぶりなどを調べ、ご家族で語り継ぐことのできる「我が家の歴史」として残します。



未来へ贈る。— 我が家の家系図物語（ヒストリエ） —

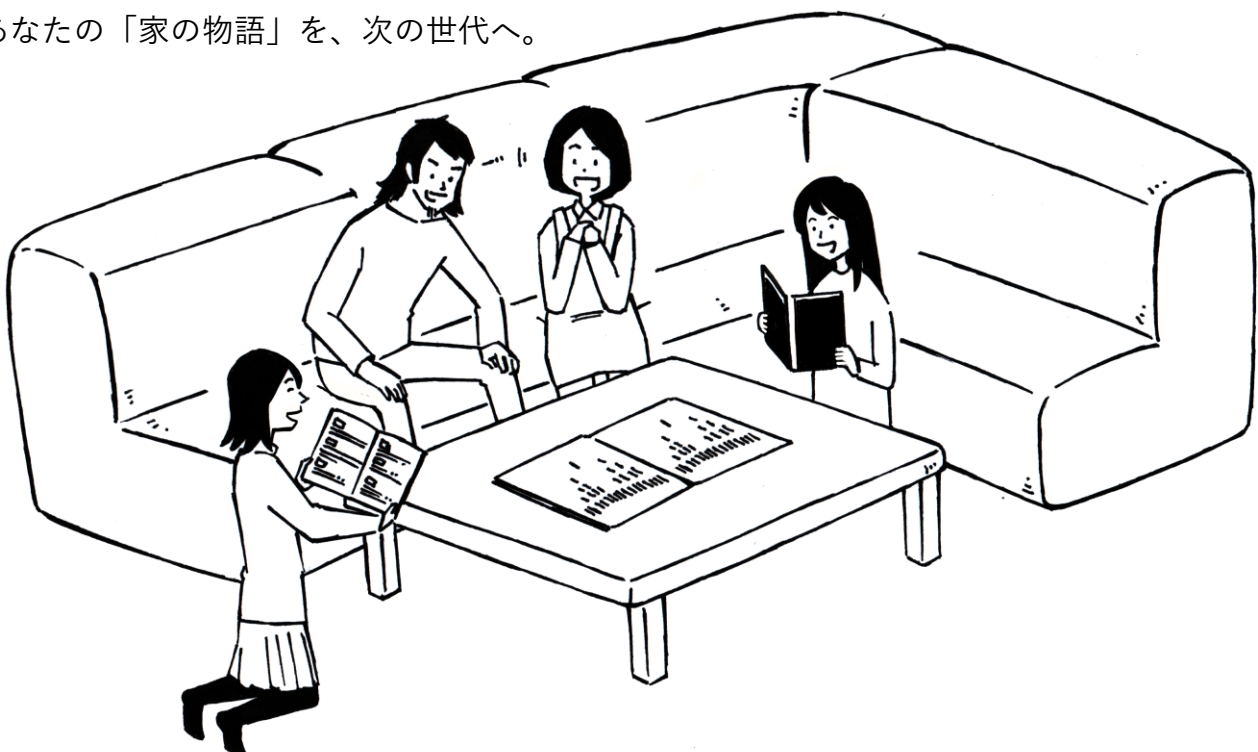
記録は永久ではありません。でも、いま残すことはできます。

今、家系図を残しておくことで、未来の子どもや孫、その先の子孫が「先祖のことをもっと知りたい」と思ったときに、たどることのできる道標になります。



過去をたどり、今を知り、未来へつなぐ。

あなたの「家の物語」を、次の世代へ。



家系図が完成した、その先に。お客様からいただいた声

家系図を作ることで、ご先祖様の名前や生年月日が分かるだけではありません。

これまで知らなかった家族の歴史に出会い、ご先祖様を身近に感じたり、ご家族で昔の話をしたり、子どもや孫へ伝えたいものが生まれたり。実際に家系図を手にしたお客様から、さまざまなお声をいただいています。

「ご先祖様に会えたという想いが溢れ、涙もあふれ出てまいりました」

愛知県 安江様

掛軸が届きました。

綺麗に素敵に仕上げてくださりありがとうございます！

拝見させていただいた時、ご先祖様に会えたという想いが溢れそして涙もあふれ出てまいりました。

ご先祖様と繋がらせてくださりありがとうございます。

最初から最後まで渡辺様をはじめスタッフの方々には丁寧に対応していただき、丁寧に作業していただき、本当にありがとうございました。

心から感謝致します！

「言葉にならない感動でいっぱいです」

東京都世田谷区 鈴木様

先日、お願いしておりました納品物が無事届き、あまりの情報量の多さと念願だったご先祖さまが整理された家系図を確認し、言葉にならない感動でいっぱいです。

まだ母へのサプライズは果たせておりませんが、絶対に私以上に感動してくれるものだと思います。なので今タイミングをはかっているところです。

また、アフターフォローについても無期限で手厚くご対応くださるとのことで、大変心強いかぎりです。

ご先祖さまからの歴史をじっくりとかみしめながら、今回の調査結果を大切にしていきます。

この度は本当にありがとうございました。

「今は血の繋がった親戚のおじいちゃんおばあちゃん達という感じです」

愛知県 M様

今日、家系図が届きました♪

知らない叔父叔母が沢山いてびっくりです(笑)

とても詳しく調べていただいて、とても面白くて、一気に読んでしまいました。

それぞれのルーツが、今まで考えた事もなかったですが、壮大な歴史に繋がっているかもしれないと知って、なんだかとても感動しました。

日にちが経ち、段々気持ちも落ち着き、最近は、ご先祖さまの名前を声に出して呼んでみると、なんだかとっても幸せな気持ちになります。

今までは単なる「ご先祖様」だったけど、今は血の繋がった親戚のおじいちゃんおばあちゃん達という感じです。この人たちはどんな人生を歩んで、どんな事考えて日々を過ごしていたのかな…なんて考えていると、どんどん想像が膨らんでワクワクします。

こんな幸せな気持ちをありがとうございます。

「一人欠けても生まれなかった自分のいのち」

大阪府 K 様

昨日、義母の 23 回忌でした。

家系図まさかこの日に間に合うとは思っていなかったの、ほんとにありがたかったです。

仏壇にお供えしてから、息子たち家族とわいわい言いながら家系図見ました。

小学 2 年生の孫は、この人とこの人の子供がこの人と結婚して、おじいちゃんのお母さんが生まれて、と線を追って、自分のところまでつながるのがすごく面白らしく、名前の漢字をなんと読むの？と盛んに聞いていました。一人欠けても生まれなかった自分のいのち、誰もが大事に生きてもらいたいものです。

「Y 家の宝物として大切にいたします」

三重県四日市市 Y 様

主人と落ち着いた時間に広げました。

桐箱から取り出し、美しく仕上がった家系図をゆっくり辿りながら、改めてご先祖様が繋いでくださった大きさを感ずることができました。

また調査のファイルに関しまして膨大な量を調べ作成してくださいましたこと、渡辺様、佐々木様、そして関わってくださった皆様には多大なるご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

Y 家の宝物として大切にいたします。

長い期間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

「家族間で共有し、ご先祖に感謝しつつ、伝えていきたい」

東京都世田谷区 S 様

長期間にわたり調査いただき、誠に有難うございました。

内容拝見しました。親を通じてこれまで断片的にしか聞いてこなかった事実がある程度明らかになり、またこれまで全く聞いたことのない事実等もあり、非常に興味深く拝読しています。

折を見て家族間で共有し、ご先祖に感謝しつつ、今を生きるものとして各自の課題に誠実に取り組むよう、伝えていきたいと思います。

家系図は、完成したときが終わりではありません。

ご先祖様を知ること。

家族で語り合うこと。

子どもや孫へ伝えること。

そして、まだ見ぬ未来のご家族へ残していくこと。

お客様からいただくこうしたお声の一つひとつが、私たちが家系図を作り続ける理由です。

あなたの「家の物語」も、未来へ残してみませんか。

[X]

このほかにも、全国のお客様から多くのご感想をいただいています。

最新の「お客様の声」は、当社ホームページ・X で随時ご紹介しています。



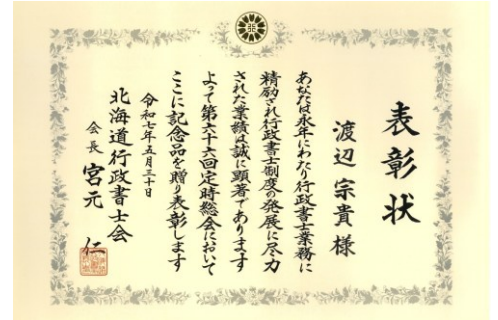
20 年以上、家系図に特化して歩んできました

開業当初は、月に 1～数件ほどだった家系図のご依頼。

その後、全国から少しずつご相談をいただくようになり、現在では毎月 300 件を超えるご相談、年間 200 件以上のご依頼をいただくまでになりました。

多くの家系に携わる一方で、強く感じるようになったことがあります。

それは、件数を増やすことよりも、一つひとつの家系にもっと深く、もっと丁寧に向き合い、ご家族にとって本当に「家宝」と呼べるものを残したい、という思いでした。



ノウハウは、書籍で出し切りました

これまで、家系図の調べ方や私たちが現場で培ってきた方法を、できる限り書籍として公開してきました。

2019 年『わたしの家系図物語 (ヒストリエ)』では、実際の戸籍を使いながら、戸籍の読み解きから「戸籍以上の調査」までの方法を紹介。

2025 年には『家系図をつくる。—あなたの家系のヒストリーがわかる』を監修し、古地図や各種資料を使った実践的な家系調査を紹介しました。

同年刊行の『千年たどる家系図物語 (ヒストリエ)』では、これまでの家系調査の経験を物語に凝縮し、菩提寺や墓所の探索、現地調査、中世・古代へとつながる家系調査まで描きました。この 3 冊で、公開できるノウハウは、ほぼすべて世に出したと考えています。



量より質へ——だから、ヒストリエをつくりました

ノウハウを公開したその先で、家系図の専門会社として何ができるのか。

私の答えは、さらに深く、さらに丁寧に、一つの家系と向き合い、未来へ受け継ぐことのできる「家宝」をつくることでした。

その思いから生まれたのが、「家系図調査パッケージ | 家宝 わたしの家系図物語 (ヒストリエ) コース」です。

戸籍の網羅収集から、全体系図、祖父母四家系の詳細系図、調査報告書、家系譜までを一貫して作成。

戸籍だけでは分からない苗字や家紋、土地の歴史なども基礎資料から調べ、分かったことだけでなく、分からなかったことや、さらに調べるために必要なことまで記録します。

ここで整えた家系資料は、将来「戸籍以上の調査」へ進む際の確かな土台にもなります。



これからの 15 年にも、責任をもって

家系図は、完成して終わるものではありません。

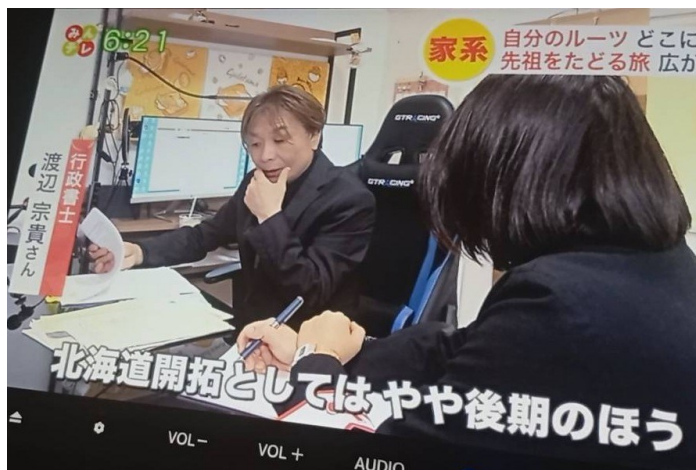
子どもへ、孫へ、その先の世代へと受け継がれていくものです。

だからこそ私たちも、これから先も責任をもってこの仕事を続け、次の世代に胸を張って残せる家系図を、一つひとつ丁寧につくっていきたいと考えています。

その思いをかたちにしたのが、ヒストリエコースです。

あなたの「家の物語」を未来へ残すお手伝いができましたら幸いです。





1. サービス内容・料金のご確認

HP・パンフレット等で、サービス内容と料金をご確認ください。

一般価格：個人 672,000 円 | ご夫婦 1,344,000 円

ご不明な点やご質問がございましたら、メール・LINE よりお気軽にご相談ください。

2. お申込み

HP のお申込みフォーム、またはお申込書の郵送・FAX、メール・LINE よりお申込みください。

3. 委任状のご返送

戸籍取得に必要な委任状は、当社でご用意いたします。必要事項をご記入のうえご返送いただければ、あとは戸籍の取得から調査・家系図作成まで、すべておまかせいただけます。

4. お支払い

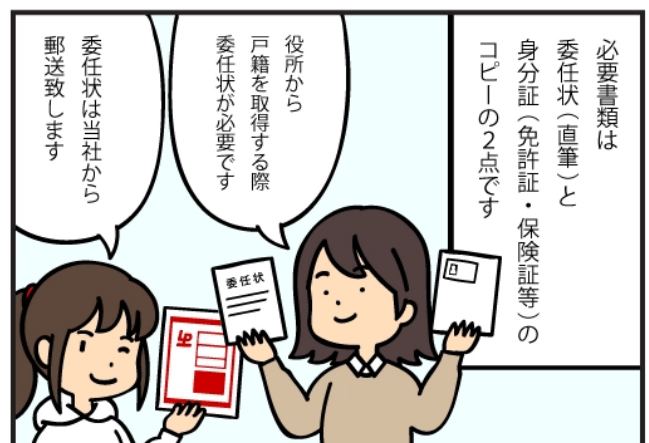
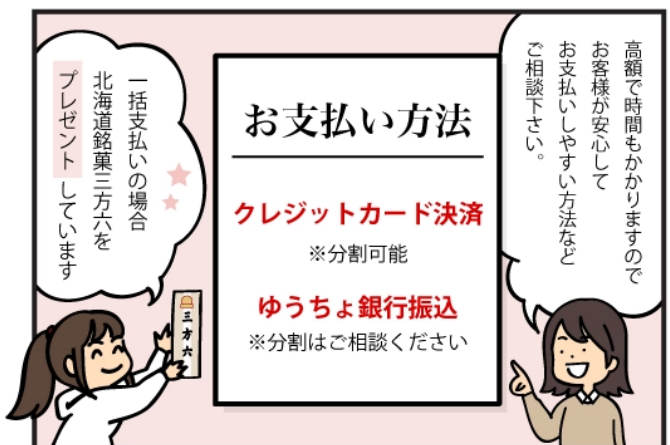
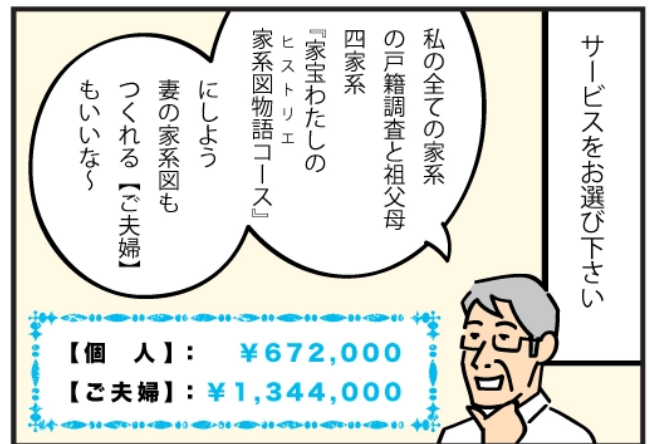
次の方法からお選びいただけます。

- ・クレジットカード決済（一括）
※カード会社の規定により分割払いも可能です
- ・ゆうちょ銀行振込（一括）
※分割払いをご希望の場合はご相談ください

お申込みの際にお知らせください

- ① ご希望コース：個人 / ご夫婦
- ② お支払い方法：銀行振込 / クレジットカード
- ③ お名前
- ④ 生年月日
- ⑤ ご住所（〒）
- ⑥ ご夫婦の場合：配偶者様のお名前・生年月日

メール・LINE からのお申込みの場合は、上記 6 項目をお送りください。



完成までの目安：6～12 ヶ月

まずは、戸籍取得を開始

委任状をご返送いただきましたら、全国各地の役所へ
ご先祖様の戸籍請求を開始します。

戸籍取得期間の目安：4～8 ヶ月（平均約 6 ヶ月）

質問票のご記入

家系・家紋・ご先祖様についての聞き伝えなど、調査
報告書を作成するための情報をお伺いします。

進捗状況を随時ご報告

戸籍の取得状況は、共有スプレッドシートで随時更新。
完成までの進捗をご確認いただけます。

家系図・調査報告書・家系譜を作成

作成期間の目安：戸籍が揃ってから 2～4 ヶ月

完成・納品

完成した家系図・調査報告書・家系譜、取得した戸籍・
収集資料をまとめてお届けします。PDF・Excel・Word
などのデータもあわせて納品します。

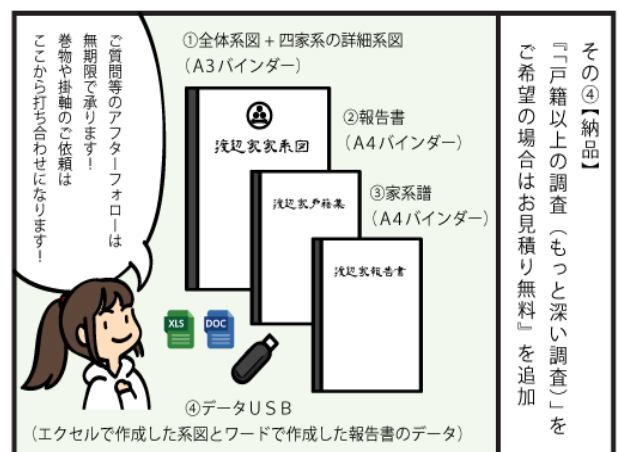
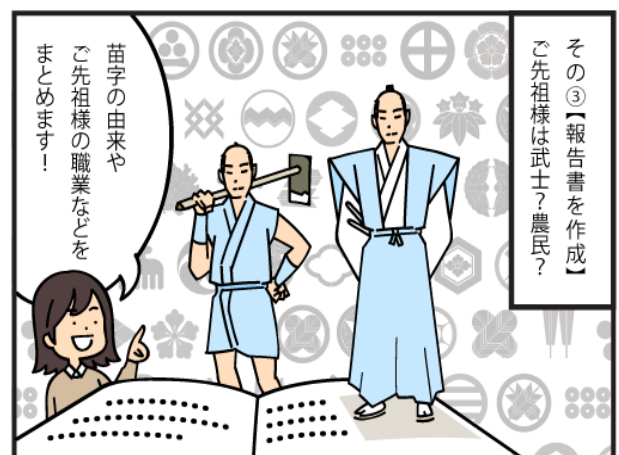
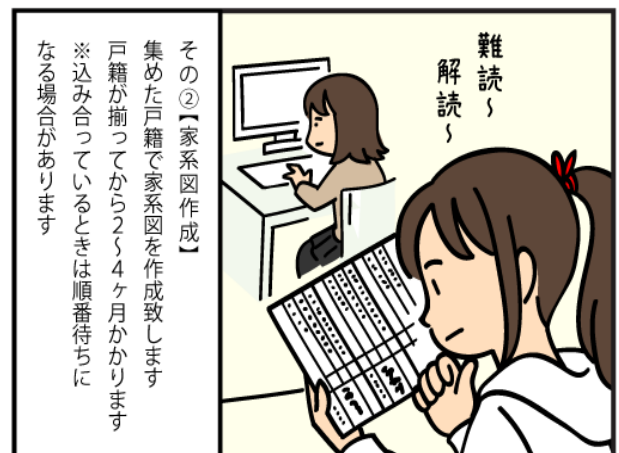
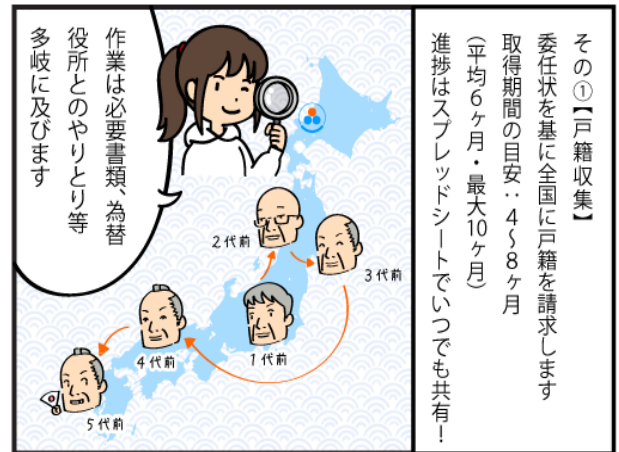
納品して終わりではありません

納品後の追記・修正・ご質問には、無期限で対応いた
します。

また、ご自身でさらに調査を進めたい場合の調査方法
や文献探し、菩提寺・お墓探し、現地調査、新たな資
料が見つかった際の再調査などについても、できる限
りアドバイスいたします。

家系図は、一度作って終わりではありません

ご家族の歴史がこれ
からも受け継がれて
いくよう、完成後も
長期的にサポートいた
します。



戸籍調査でたどれるのは、おおむね江戸時代末期から明治初期までです。

では、その先のご先祖様は調べられないのでしょうか。

「戸籍以上の調査」では、過去帳や古文書、郷土資料、同姓家への聞き取りなど、戸籍以外のさまざまな資料や情報を組み合わせ、江戸時代、さらにその先へと家系をたどる可能性を探ります。



どこまで遡れる？ — 時代によって調査方法が変わります

現代～江戸時代末期（150～200 年前）→ 戸籍調査【ヒストリエコース】

江戸時代（150～400 年前）→ 過去帳・墓石・宗門改帳・武士系図など

戦国時代（400～500 年前）→ 残存資料が少なく、家系をつなぐ大きな壁となる時代

中世・古代（500～1000 年以上前）→ 古い家系文献・系図史料など



家系によって、必要な調査はまったく異なります

- ・ 同姓家へのアンケート調査
- ・ 菩提寺・過去帳の調査
- ・ 郷土資料・人名録の調査
- ・ 藩政資料・武士系図の調査
- ・ 全国的な苗字・系譜調査
- ・ その他、各家系に応じた特殊調査

これらを組み合わせ、その家系に適した調査方法を組み立てます。



戸籍以上の調査は、どう始める？

すでに戸籍調査がお済みの方、家系資料や明確な聞き伝えがある方は、お手持ちの資料をお見せください。内容を確認したうえで、戸籍以上に遡れる可能性を判断し、調査方針とお見積りを無料で作成いたします。

家系に関する資料や情報がない方は、まず「ヒストリエコース」で戸籍調査と基礎調査を行います。その結果をもとに、さらに古い時代へ遡れる可能性を判断し、次の調査方針をご提案します。

調査内容・料金の目安

調査内容は家系ごとに異なります。ご状況やご希望に応じて、可能な調査を総合的に行う「フル調査」は 48～72 万円前後、今やるべき調査を優先する「ピンポイント調査」は 24～36 万円前後が目安です。

※調査の可能性や必要な調査内容によって、費用は異なります。

戸籍の外側に眠る、もう一つの家族史

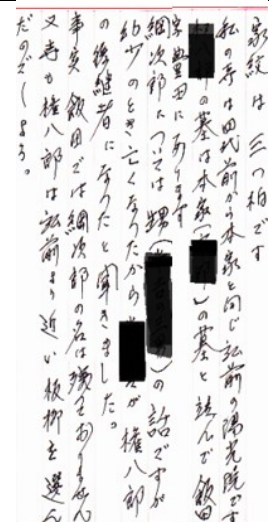
庶民の家系を江戸時代へたどるには、口伝、墓石、菩提寺、過去帳、同姓家への調査などが重要な手掛かりになります。

私自身も、家に残っていたのは「東北から来たらしい」という聞き伝えだけでした。

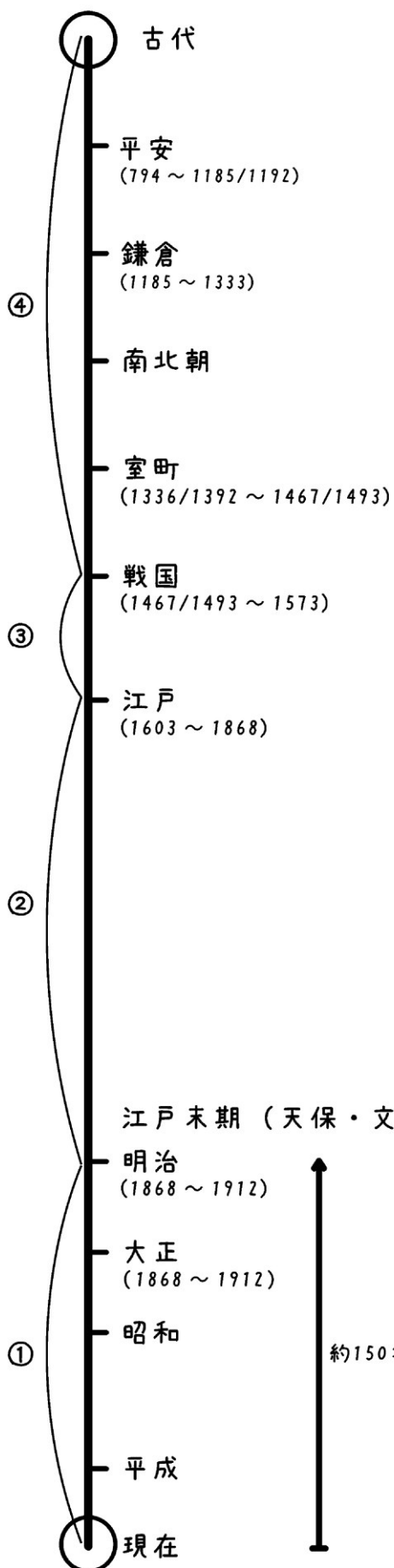
戸籍から青森県の農村にたどり着き、現地の同姓家へ手紙を送ったところ、90 歳を超える方から返信をいただき、家紋、菩提寺、本家のお墓、さらに戸籍には残らない聞き伝えまで判明しました。

10 年以上前（2026 年現在）の話です。今ならお返事をいただけなかったかもしれません。戸籍という記録が途切れても、人の記憶によって家系が再びつながることがあります。しかし、こうした記憶を持つ方は年々少なくなっています。

聞ける人に、聞けるうちに聞く。戸籍の外側には、もう一つの家族史が眠っています。

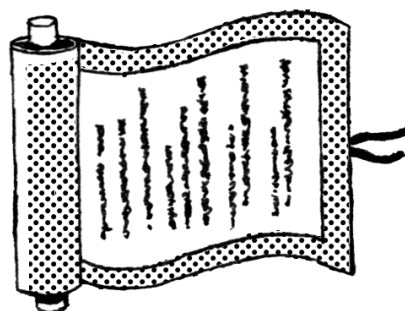


家系調査の基礎の基礎 1000年さかのぼる家系調査の全体像



新選姓氏録

江戸時代に武士であった場合、藩に提出した系図が見つかれば過去帳に頼らずとも一気に江戸初期、時には源平藤橘までさかのぼれる可能性があります。



尊卑分脈

過去帳

寺請制度 (1664 ~)
※ 戒名・俗名・歿年
・菩提寺
・本家

墓石

※ 過去帳と同じ内容)
※ 200 年前が限界
※ 過去帳より正確

武士の系図

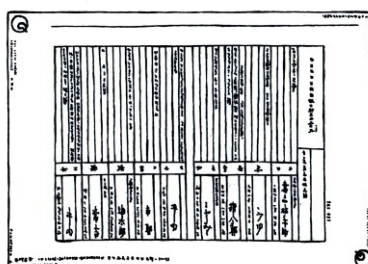
宗門改帳

過去帳には、ご先祖様の戒名・俗名（生前のお名前）歿年が書かれています。江戸時代初期（1664 年）の寺請制度で全国民の過去帳が菩提寺に備え付けられるようになりました。



戸籍制度

明治 5 年壬申戸籍 (×)
明治 19 年式戸籍



約150年



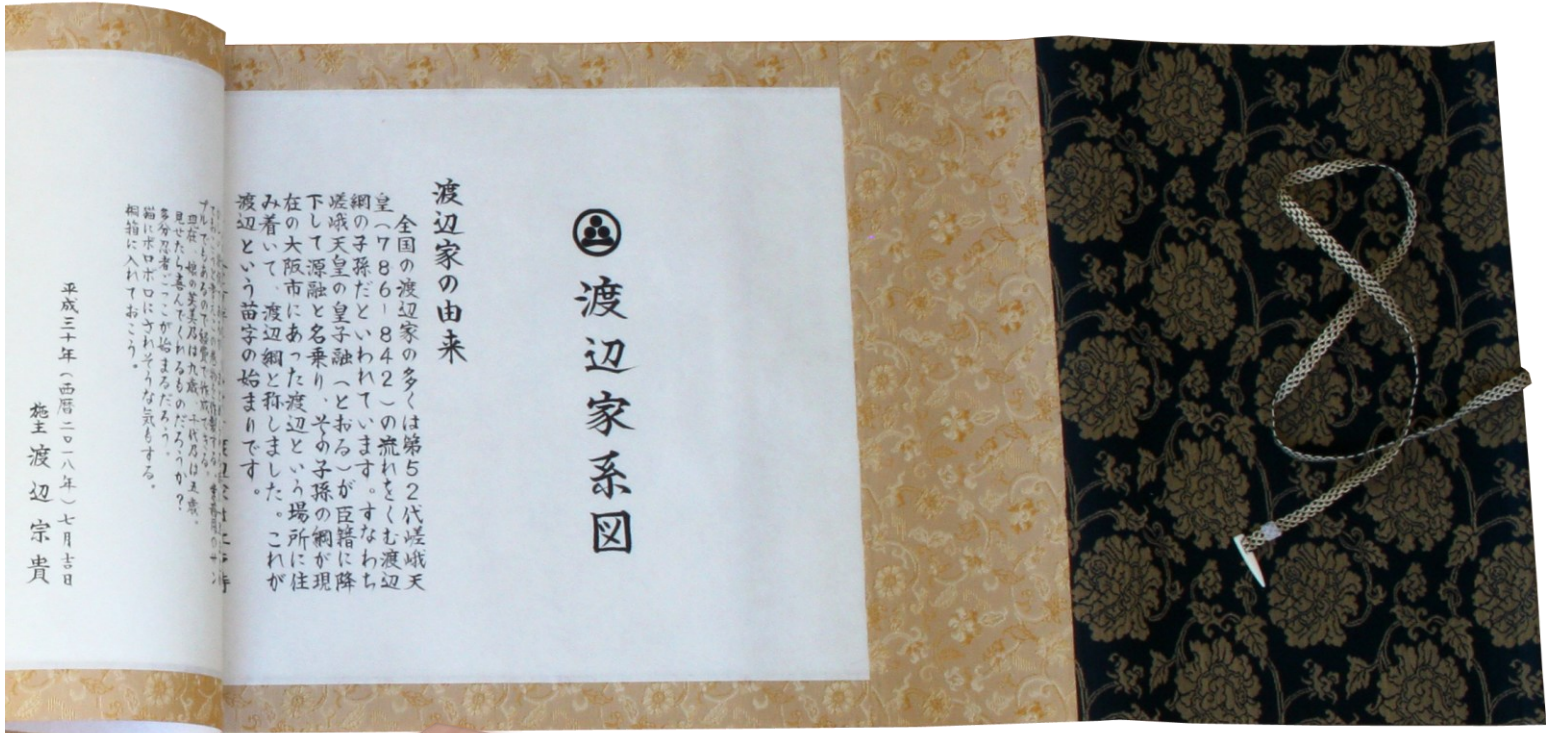
家系図を、特別な一作に仕立てる

『巻物』『折本』『掛軸』『額装』は、それぞれ2種類からお選びいただけます。

- ・一文字ずつ筆で書き上げる「古来版」 378,000 円～
- ・印刷で美しく仕上げる「現代版」 248,000 円～

ご家族の歴史を、それぞれのご家庭に合った「家宝」の形で未来へ残すことができます。

調査して完成した家系図を、世代を超えて受け継ぐ「家宝」として残すために、『巻物』『折本』『掛軸』『額装』『冊子製本』への仕立てもご用意しています。



一冊の本として残す

家系図やご家族の歴史を、一冊の本としてまとめる

『冊子製本』もご用意しています。

・冊子製本 168,000 円～

個人 | 祖父母四家系 672,000 円

ご夫婦 | 祖父母四家系 × 2 名（八家系） 1,344,000 円

※すべて税込・送料込

本コースに含まれる内容

- ・全家系の戸籍を網羅収集
 - ・「全体のつながり」を俯瞰できる全体系図を作成
 - ・祖父母四家系の詳細系図 + 調査報告書 + 家系譜
- ※ご夫婦の場合は八家系分を作成します。

お支払い方法

- ・クレジットカード決済（一括）
※カード会社の規定により分割払いも可能です
- ・ゆうちょ銀行振込（一括）
※分割払いをご希望の場合はご相談ください



分割払いの目安 — ヒストリエコース個人 672,000 円の場合 —

12 回払い：約 56,000 円／月

24 回払い：約 28,000 円／月

※クレジットカードの分割手数料は別途かかります。

納品物

取得戸籍一式

家系図・調査報告書・家系譜

バインダー（系図 A3・資料 A4）

データ USB（PDF・Excel・Word）



アフターフォロー

納品後の追記・修正・ご質問・追加調査に関するご相談は、無期限・無料で対応いたします。

納品後に新たな戸籍・過去帳・墓碑・古文書・ご親族からの情報などが見つかった場合も、お気軽にご相談ください。

必要に応じて、今後の調査方法についてもアドバイスいたします。

※大幅な追記・修正が必要となる場合は、内容に応じて別途お見積りとなる場合がございます。

※巻物・折本・掛軸・額装・冊子など、再制作や加工を伴う追記・修正については、構造上、別途作業費が必要となります（要お見積り）。

完成までの目安

6～12 ヶ月 ※役所の処理状況や戸籍の所在などにより前後する場合があります。



Q. いくらくらいかかりますか？

A. 基本となるのはヒストリエコースです。

個人：672,000 円（税込）

ご夫婦：1,344,000 円（税込）

まず戸籍調査と基礎調査を行い、家系の土台となる系図を作成します。

その結果、さらに調査できる可能性があり、ご希望の場合には「戸籍以上の調査」をご提案します。

内容により、一家系あたり 48～72 万円程度となることが多いです。

※「戸籍以上の調査」は、ご希望の家系だけ追加することも可能です。

Q. どのくらいの期間で完成しますか？

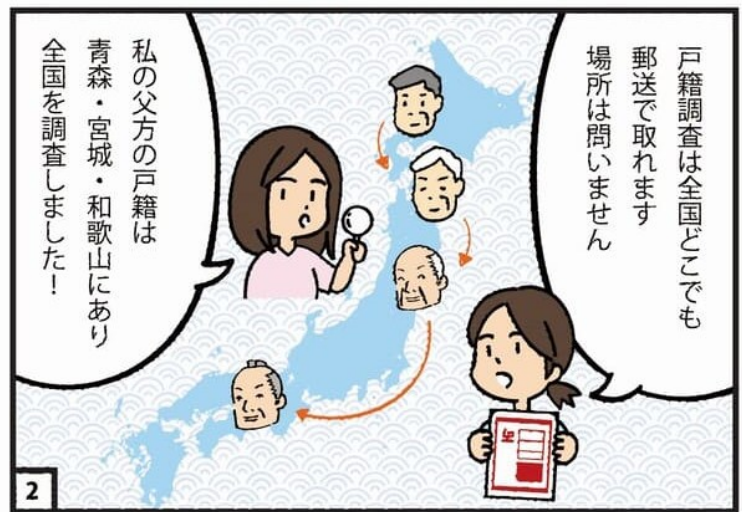
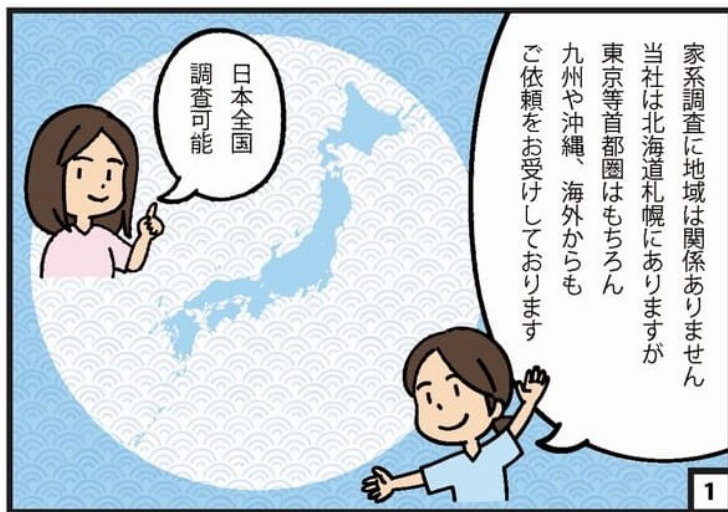
A. 目安は 6～12 ヶ月です。戸籍の所在や役所の処理状況などにより前後する場合があります。

戸籍取得：4～8 ヶ月（平均約 6 ヶ月）

家系図・調査報告書・家系譜の作成：戸籍が揃ってから 2～4 ヶ月

Q. 本当に全国どこでも対応できますか？

A. はい、全国対応です。全国各地の役所へ戸籍の請求・照会を行います。調査報告書に必要な苗字辞典・地名辞典などの基礎資料も取り揃えており、郵送・オンラインを中心に調査を進めますので、遠方の方でもご依頼いただけます。



Q. 家族や親族とも共有できますか？

A. はい。紙のバインダーに加え、戸籍・収集資料は PDF、家系図は Excel、調査報告書は Word など、データでも納品します。ご家族・ご親族で共有したり、将来さらに調査したりする際にも活用できます。

Q. どのくらい昔まで遡れますか？

A. 戸籍調査では、江戸時代末期～明治初期（約 150～200 年前）まで、平均して 4～5 世代前のご先祖様をたどれるケースが多くあります。

ヒストリエコースの結果から、さらに古い時代へ遡れる可能性がある場合には、「戸籍以上の調査」をご提案することもできます。

Q. 先祖の職業や身分も分かりますか？

A. 戸籍には職業や江戸時代の身分が直接記載されているわけではありません。しかし、ご先祖様が暮らしていた地域の歴史、苗字の分布、名前の特徴、郷土資料などを組み合わせることで、江戸時代の暮らしぶりや職業・身分を推測できる場合があります。

調査結果は断定せず、「確定」「有力」「仮説」など、根拠に応じて段階を分けてご報告します。

Q. 夫婦で申し込むこともできますか？

A. はい。個人の場合は祖父母四家系、ご夫婦の場合は「祖父母四家系×2 名」の八家系が対象となります。八家系それぞれについて、詳細系図・調査報告書・家系譜を作成します。

Q. どのような方からの依頼が多いですか？

A. 直近 200 件では、男性約 6 割・女性約 4 割、年代は 40～60 代が中心です。地域では首都圏からのご依頼が多く、北海道をはじめ全国各地からご相談をいただいています。

結婚・出産・相続など人生の節目に家族の歴史を残したい方、ご自身の出自を知りたい方、昔から伝わる家系図や聞き伝えを確かめたい方など、きっかけはさまざまです。



Q. 皆さん、どのようなきっかけで家系図を作るのですか？

A. 「自分の家はどこから来たのだろうか」「先祖は武士だったのだろうか」「苗字にはどんな由来があるのだろうか」といった素朴な疑問から始める方も多くいらっしゃいます。

また、親御様とのお別れ、お子様やお孫様の誕生、結婚、相続など人生の節目に、「今のうちに家族の歴史を調べて残しておきたい」と考えられる方もいらっしゃいます。

Q. 他の家系図サービスとの違いは何ですか？

A. ヒストリエコースでは、戸籍を取得して家系図を作るだけでなく、ご本人につながる全家系の戸籍を網羅的に収集し、「全体系図」として全体のつながりを可視化します。

さらに祖父母四家系については、「詳細系図＋調査報告書＋家系譜」を作成。苗字・家紋・地域の歴史なども調査し、根拠資料とともに、ご家族が「読める・語れる」形で残します。

Q. 期待したような調査結果が出なかった場合、返金がありますか？

A. 調査という性質上、「希望していた先祖が見つからなかった」「想定していたルーツを確認できなかった」といった調査結果を理由とする返金制度は設けておりません。資料が存在しないことや、史料から確認できないこと自体も、大切な調査結果の一つだからです。

ただし、戦災などにより古い戸籍が現存せず、予定していた戸籍調査を継続できないような稀なケースでは、進捗や状況を確認したうえで、一部返金や目的に沿った代替調査などを個別にご提案します。

販売事業者 家系図作成代行センター株式会社／渡辺宗貴行政書士事務所

運営統括責任者 代表取締役・行政書士 渡辺宗貴

所在地 〒004-0805 北海道札幌市清田区里塚緑ヶ丘 1 丁目 15-1

連絡先 電話：011-375-6391 フリーダイヤル：0120-886-588 Eメール：info@e-kakeizu.com

Web サイト：e-kakeizu.com

お申込み方法

HP のお申込みフォーム、お申込書の郵送・FAX、メール・LINE よりお申込みいただけます。お申込み後、戸籍取得に必要な委任状等をご案内いたします。

料金・その他の費用

ヒストリエコース 個人 672,000 円／ご夫婦 1,344,000 円（すべて税込・送料込）。詳しくは料金表をご確認ください。原則として表示料金以外の費用はかかりません。ただし、クレジットカードの分割手数料、海外発送の送料等は別途必要となります。

お支払い方法・時期

ゆうちょ銀行への振込、またはクレジットカード決済。お支払い時期および分割払いについては、お申込み時にご案内。

サービス提供・納品時期

完成までの目安は 6～12 ヶ月です。戸籍の所在や役所の処理状況等により前後する場合があります。完成後、成果物を発送。

キャンセル・返金について

お客様都合によるキャンセル

当社の調査は一家系ごとに個別に行い、着手時点から工数・実費が発生するため、業務着手後のお客様都合によるキャンセル・返金は原則として承っておりません。ただし、ご事情により調査の継続が難しくなった場合は、日程変更や一時休止など、可能な範囲で柔軟に対応いたします。

当社の責による場合

当社の責によりサービスの継続が不可能となった場合は、未実施分について返金いたします。

天災・戦災・法令・制度変更等の場合

当社の責によらない事情により予定していた資料の取得・閲覧等ができなくなった場合は、進捗状況を確認し、未実施分に応じた一部返金、代替調査、別系統の追跡、資料による補完などをご相談のうえご提案します。

返金の対象とならない場合

- ・すでに実施済みの調査・執筆・編集等
- ・連絡不通や必要資料の未提供など、お客様側の事情により調査を継続できない場合
- ・調査の結果、「資料が存在しない」「記録が残されていない」ことが判明した場合

家系調査では、資料が存在しないことや史料から確認できないことも調査結果の一つです。当社では、現存する資料の範囲で可能な限り検証を行います。

調査・納品に関するリスクと対応

役所の発行遅延・戸籍の分散

不足する戸籍について追加請求を行い、進捗状況を共有スプレッドシート等でお知らせします。

制度・運用の変更

影響を確認し、可能な範囲で別系統からの追跡や資料による補完などをご提案します。

輸送事故・納品物の不良

当社の責による納品物の不良・不備については、再作成・修正・再送等にて対応します。

個人情報の取扱い

取得した戸籍・個人情報は目的外に利用せず、社内規程に基づき適切に管理・保管・破棄します。

家系図作成代行センター株式会社

家系図に特化して 20 年以上。

全国のご家族のルーツ調査と家系図作成をお手伝いしています。

代表 渡辺宗貴/行政書士

〒004-0805

北海道札幌市清田区里塚緑ヶ丘 1 丁目 15-1

TEL 011-375-6391

フリーダイヤル 0120-886-588 (平日 9-17 時)

E-mail info@e-kakeizu.com

ホームページ <https://e-kakeizu.com>

家系図についてのご相談・ご質問は、お気軽にお問い合わせください。

[ホームページ]



[LINE]



あなたの「家の物語」を、千年先へ。